

【訂正後】



2015年3月期 第1四半期決算 決算短信補足資料

2014年8月5日
日本水産株式会社

◆前年同期比で増収・増益

【水産事業】 増収・増益

国内：販売価格は高止まりするも、仕入れ価格も上昇しており、粗利が取りづらくなっている。一部の魚種で魚価落ち込みの兆候。

海外：北米の助子生産増と、南米の鮭鱒養殖事業で販売価格上昇や在池魚の評価益による収支改善。

【食品事業】 増収・増益

国内：原料すりみの価格上昇の影響が出始めた。

販売競争激化による販促費の増加。

海外：不採算事業縮小による赤字削減効果や、北米事業の収支改善。

【ファイン事業】 減収・減益

薬価改定による売上/粗利の減少。

機能性食品拡大を目指した広告宣伝費の投入。

グループ会社が好調である一方、ニッスイ個別は減益。

◆水産、食品、物流事業は増収・増益。ファイン事業が減収・減益。

(単位:億円)

	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減	2015年3月期 見通し(年間)	2014年3月期 実績(年間)
売上高	1,516	1,424	92	6,030	6,042
水産事業	647	537	109	2,551	2,538
食品事業	737	724	13	2,843	2,826
ファイン事業	60	72	▲ 12	293	285
物流事業	35	34	1	145	138
その他	35	55	▲ 19	198	252
営業利益	50	26	24	155	139
水産事業	21	5	16	36	50
食品事業	20	7	12	59	27
ファイン事業	10	19	▲ 8	68	75
物流事業	4	3	0	18	15
その他	1	1	▲ 0	6	12
全社経費	▲ 7	▲ 11	3	▲ 32	▲ 41
経常利益	60	37	23	160	123
四半期純利益	24	26	▲ 1	73	39

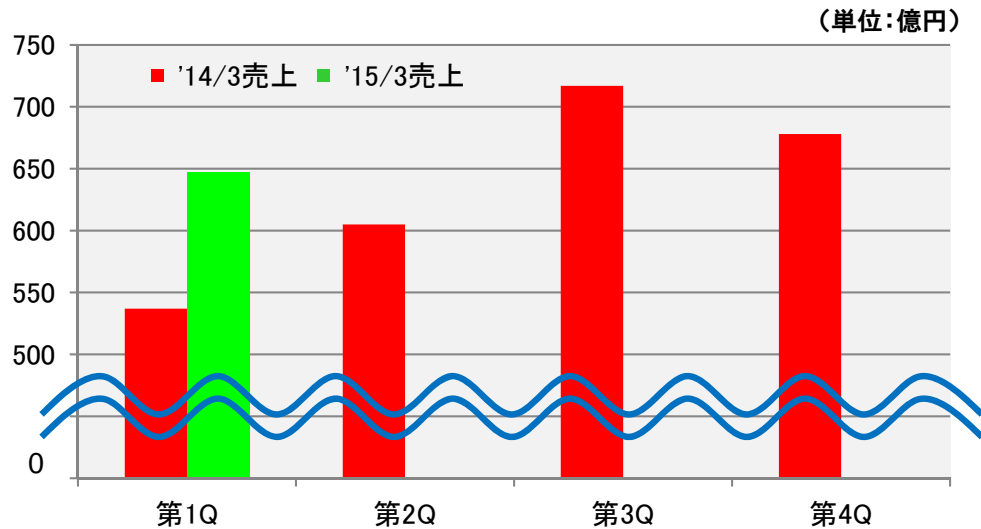
◆南米の鮭鱒養殖事業における販売価格の上昇や在池魚評価益もあり、増収・増益

(単位:億円)	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減	2015年3月期 見通し(年間)	2014年3月期 実績(年間)
売上高	647	537	109	2,551	2,538
営業利益	21	5	16	36	50

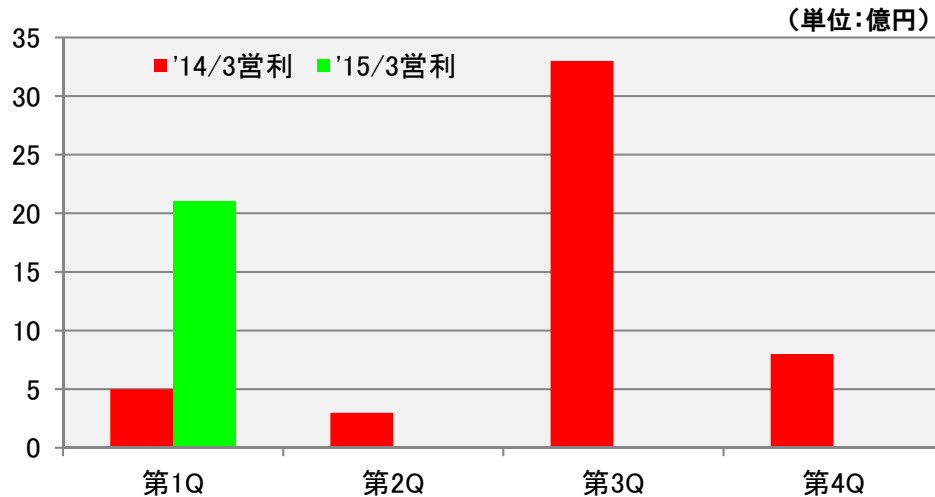
【第1四半期総括】

- ・水産物市況は高値で推移したものの、一部の魚種で弱含みの傾向が出始めた
- ・北米、ヨーロッパが堅調に推移
- ・在庫回転のアップによる不良在庫リスクの低減

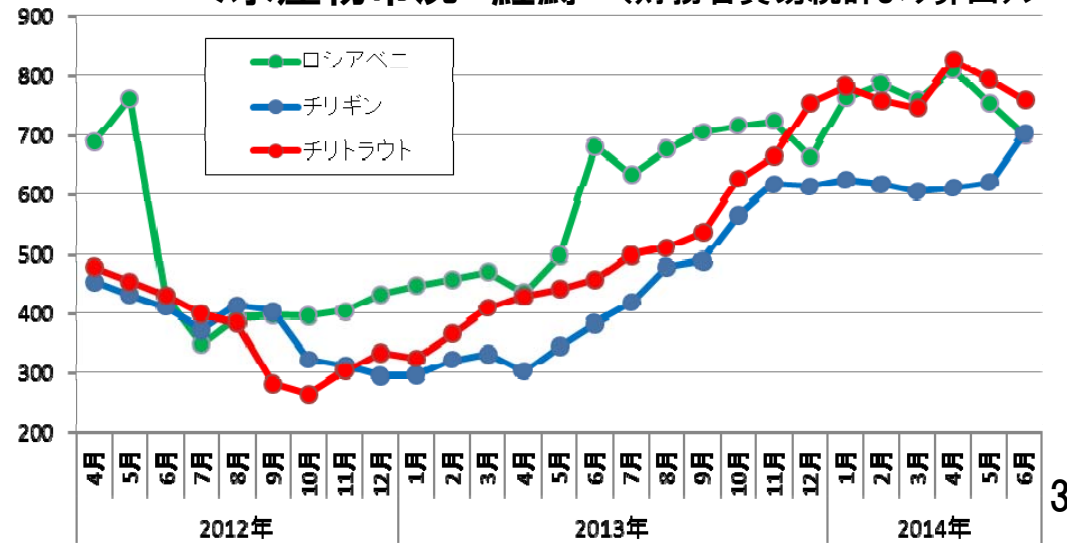
売上高



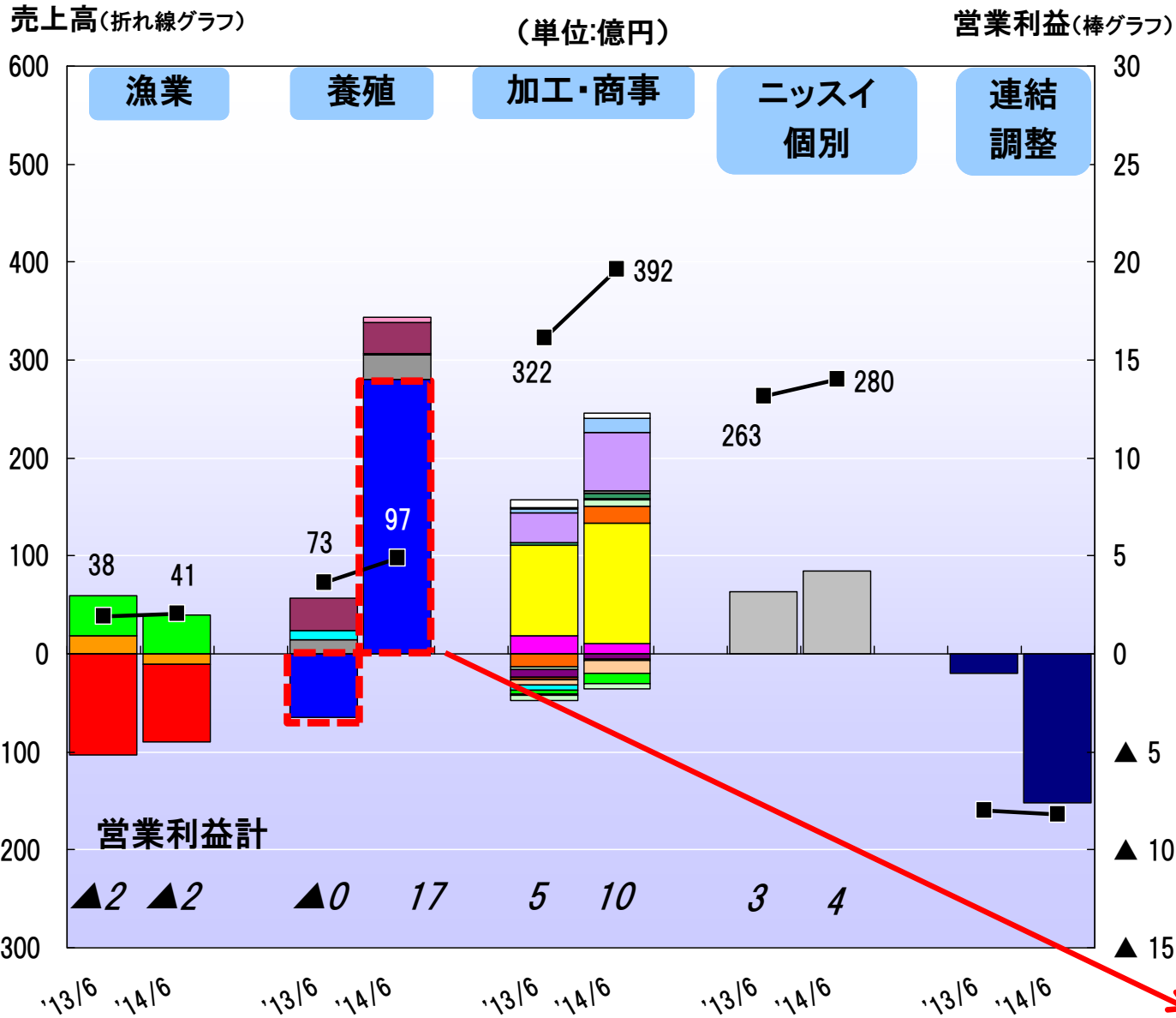
営業利益



＜水産物市況 鮭鱒 (財務省貿易統計より算出)＞

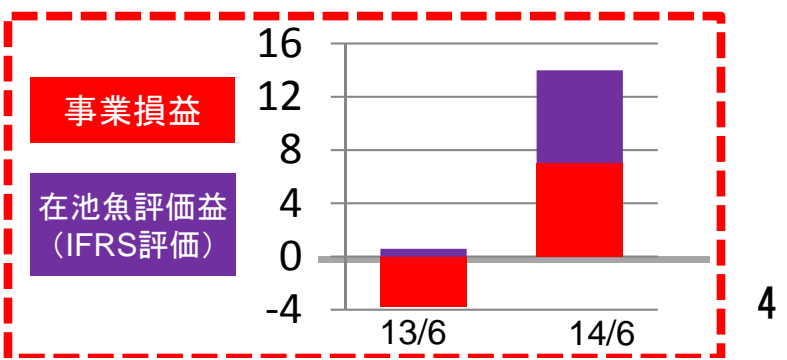


水産事業 売上高・営業利益(前年同期比)



主な増減要因

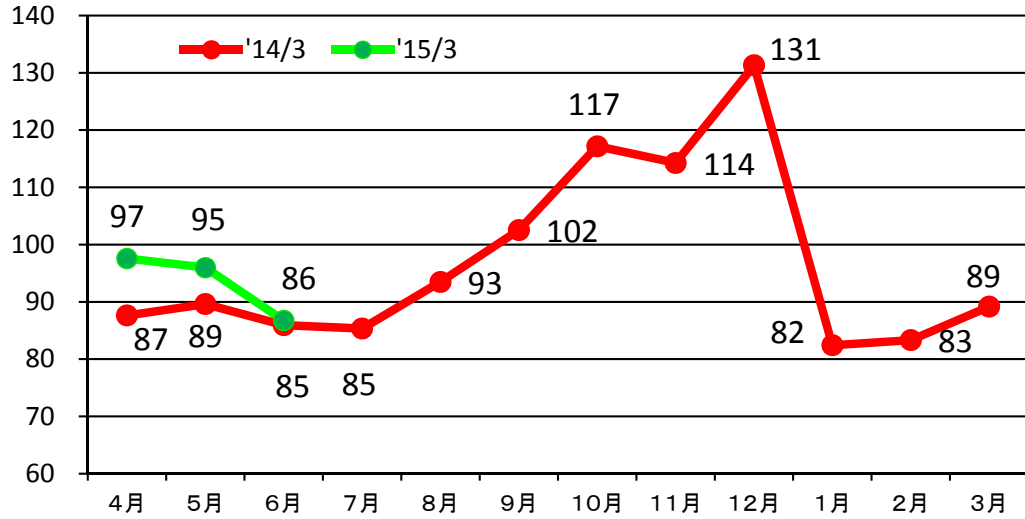
- 【漁業】**
 - 国内の漁撈事業
 - ぶりなどの漁獲好調、燃料費・ドック経費の増加
- 【養殖】**
 - 国内養殖事業
 - ぶり: 販売価格上昇
 - まぐろ: 販売価格低迷
 - チリの鮭鱒養殖事業
 - 販売価格の上昇、在池魚評価益の影響
- 【加工・商事】**
 - アメリカのすけそうだら事業
 - すりみ: 販売価格上昇、助子: 生産量増加
 - ヨーロッパ
 - えび・白身魚など主要魚種が高値で推移
- 【ニッスイ個別】**
 - 計画に沿った在庫コントロール
 - 水産物市況は一部弱含みの傾向あり



※漁業、養殖、加工・商事のグラフは連結子会社の合計を記載
 ※グラフ下部の斜体数値は機能別営業利益合計数値
 ※営業利益の連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる

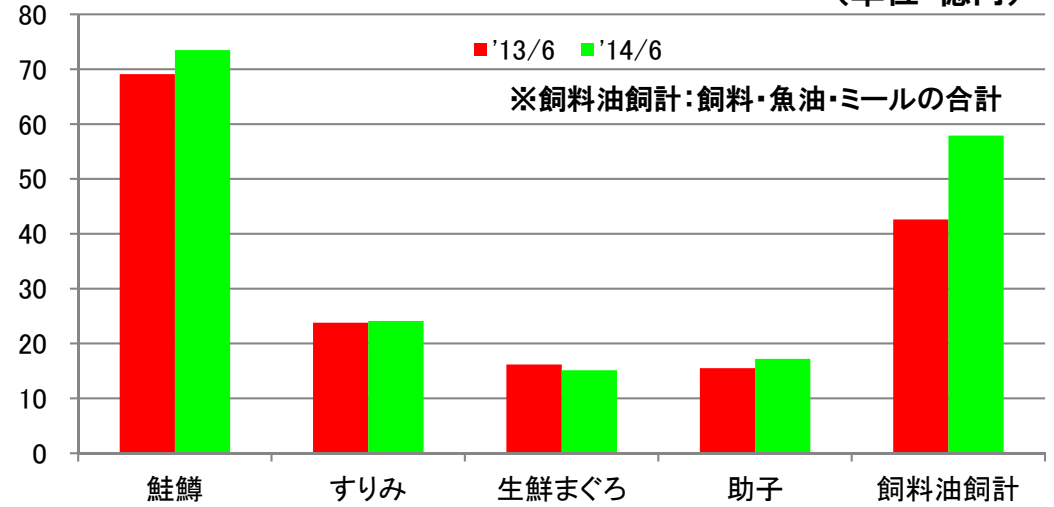
<売上高(月別)>

(単位:億円)



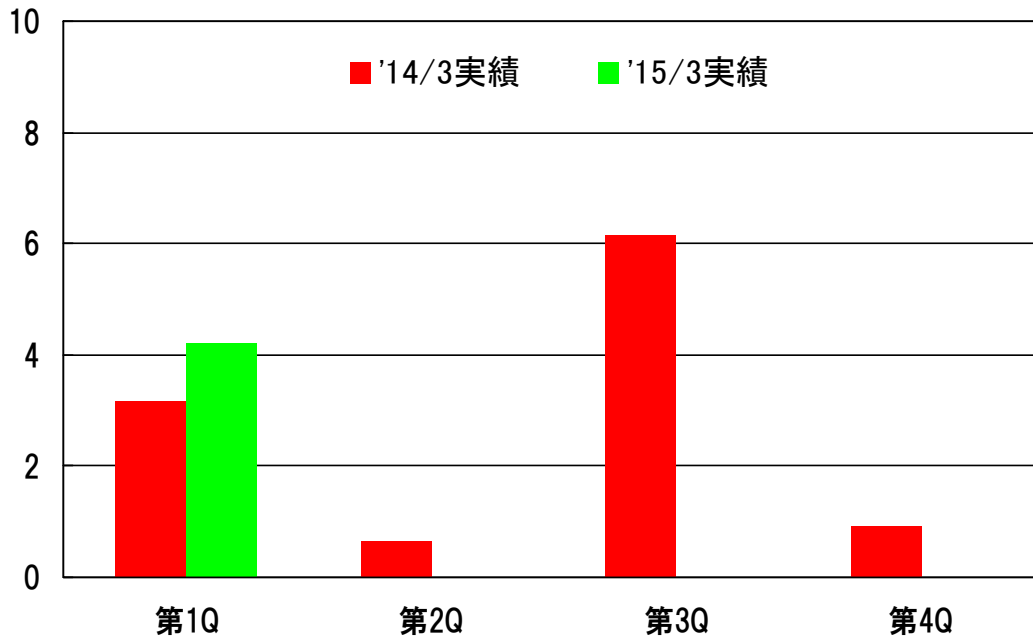
<主要魚種別 売上高(前年同期比)>

(単位:億円)

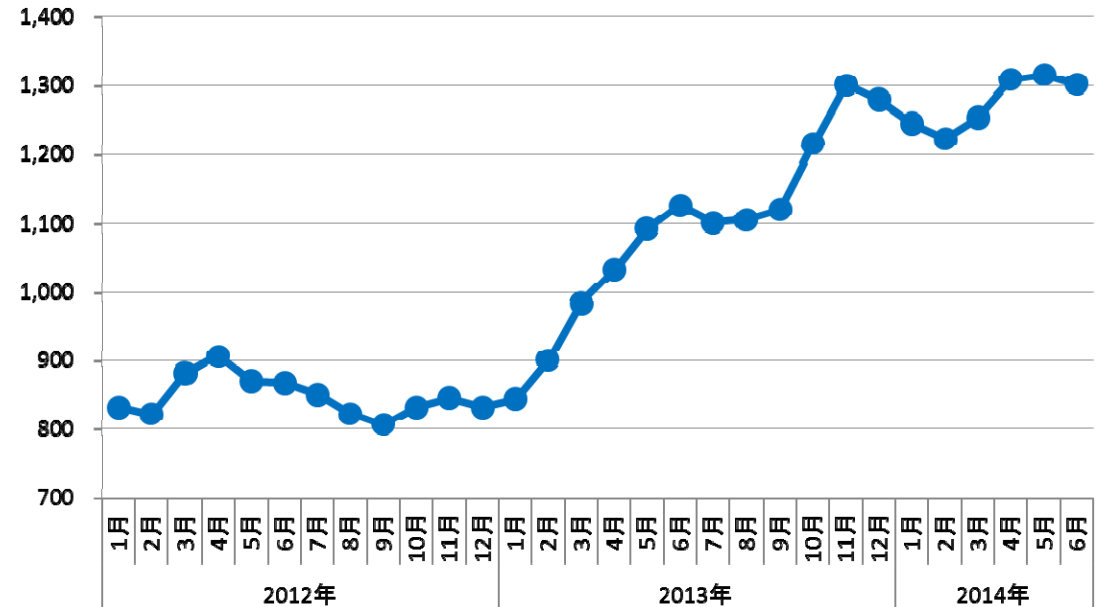


<営業利益(四半期別)>

(単位:億円)



<水産物市況 冷凍えび (財務省貿易統計より算出)>

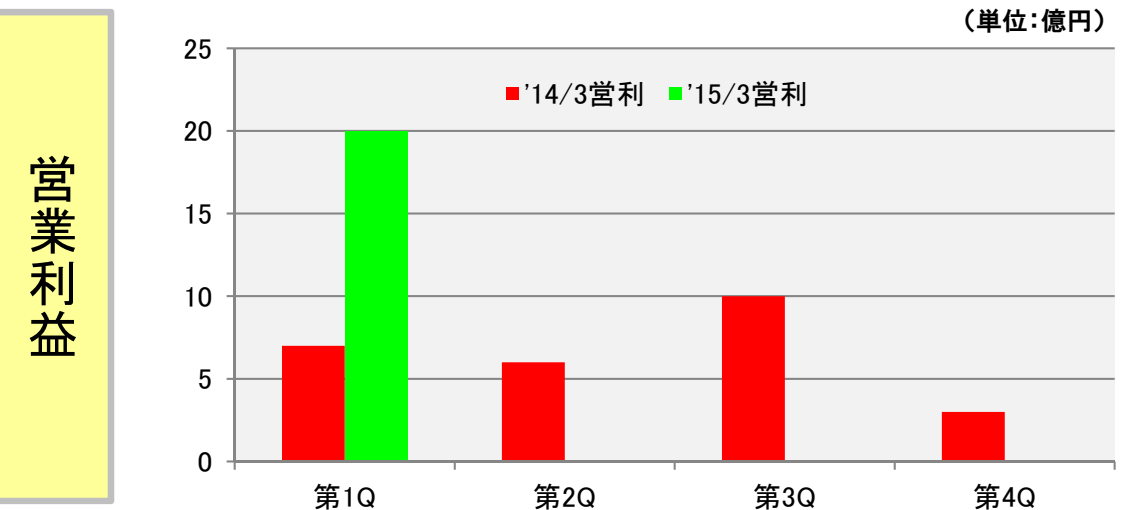
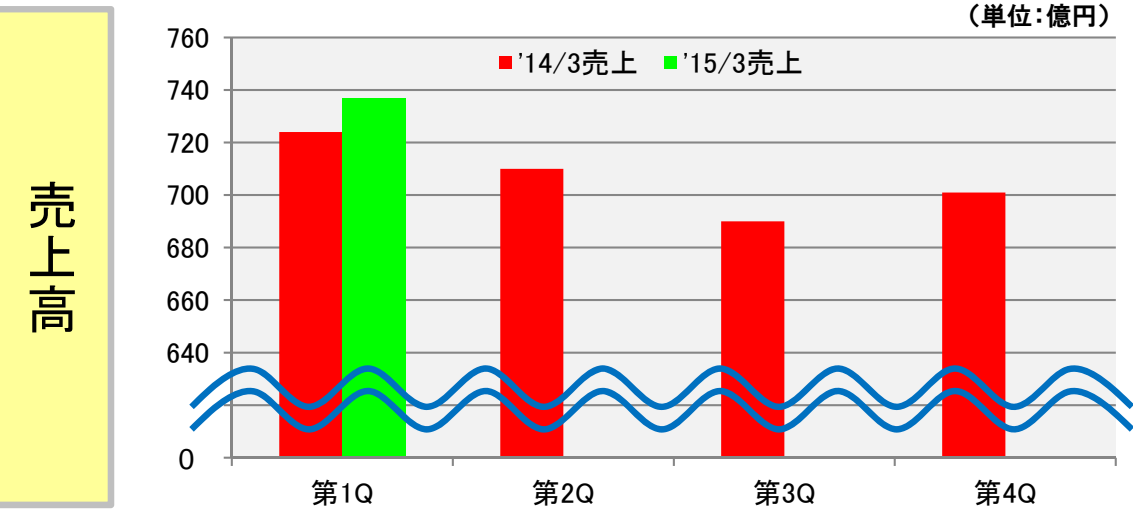


◆北米の収支改善やヨーロッパの販売伸長により、増収・増益

(単位:億円)	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減	2015年3月期 見通し(年間)	2014年3月期 実績(年間)
売上高	737	724	13	2,843	2,826
営業利益	20	7	12	59	27

【第1四半期総括】

- ・北米で不採算アイテムの見直しによる収支改善効果
- ・ヨーロッパで販売拡大と生産効率の向上
- ・チルド事業における販売伸長と生産性の改善効果
- ・すりみなど原材料コストアップ
- ・販促費のアップ

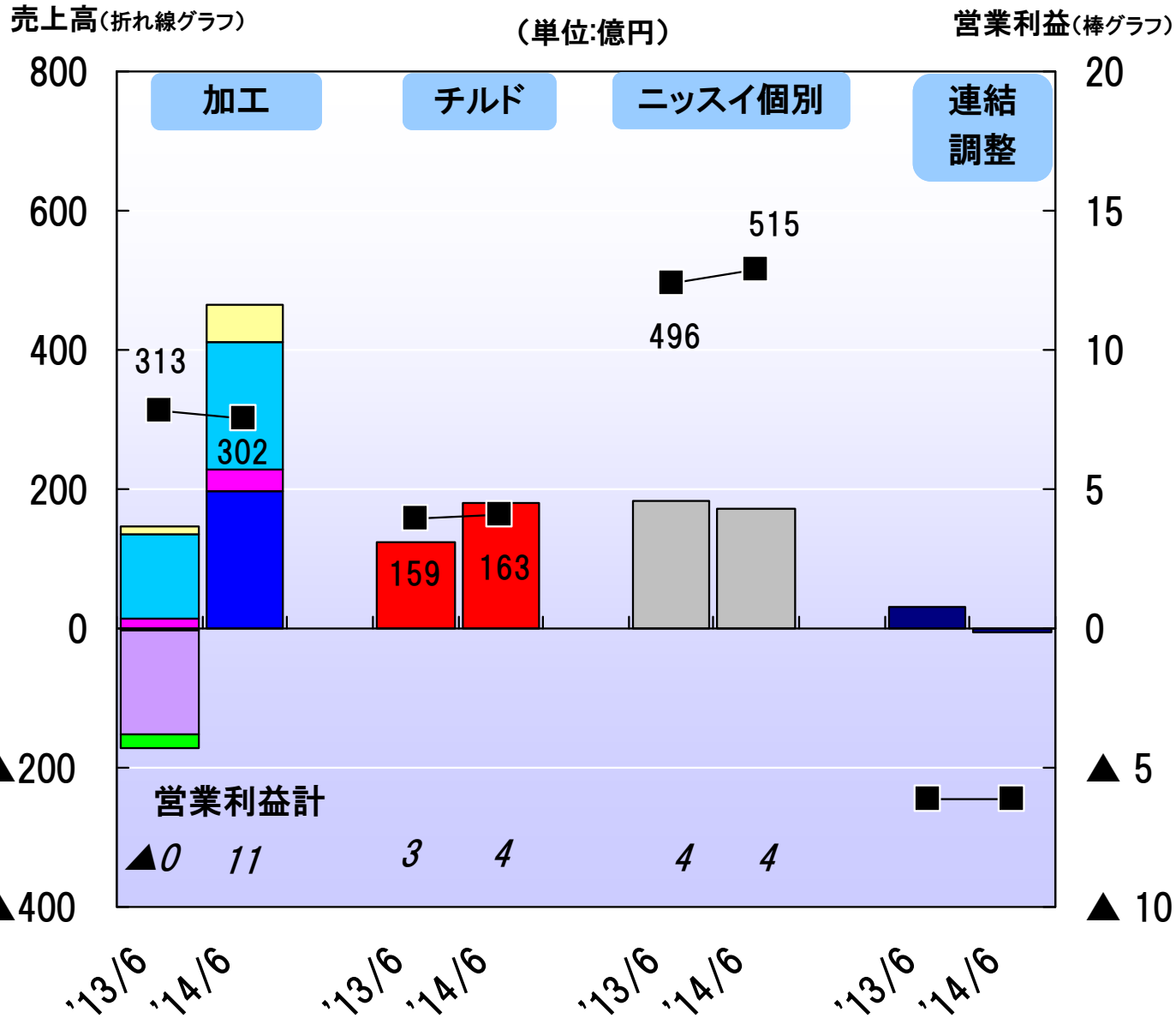


シテマリン社



K&P社

食品事業 売上高・営業利益(前年同期比)



主な増減要因

【加工】

- ・ドイツ、中国の不採算事業の縮小・撤退効果
- ・北米
不採算アイテムの見直し
大手レストランチェーン向け販売の伸長
- ・ヨーロッパ
新商品投入による販売拡大、生産効率の向上

【チルド】

- ・チルド弁当、サラダ等の販売伸長
- ・生産工程の見直しによる生産性の改善

【ニッスイ個別】

- ・すりみコストアップの影響への対応
- ・販売競争激化による経費の増加

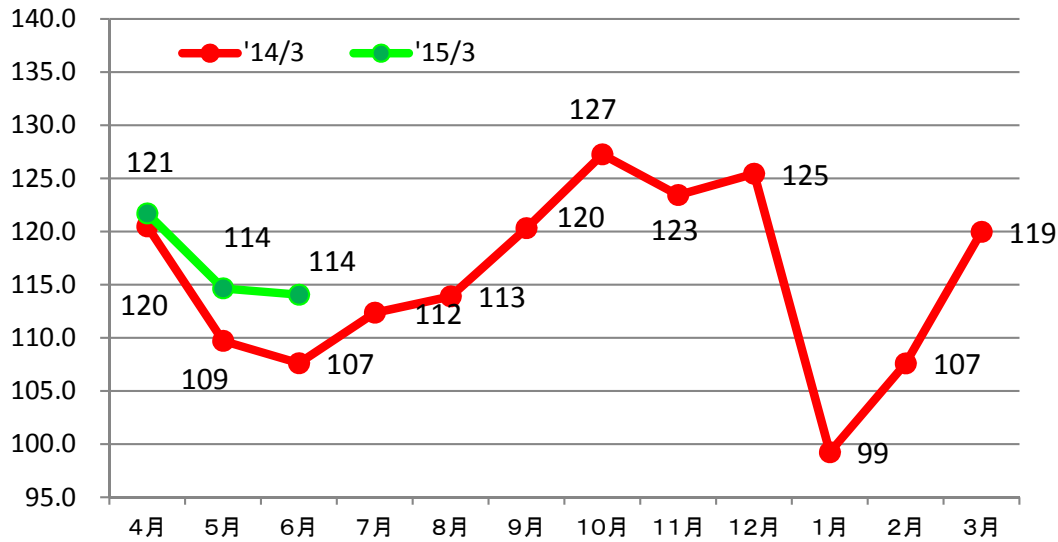
※加工、チルドのグラフは連結子会社の合計を記載
 ※グラフ下部の斜体数値は機能別営業利益合計数値
 ※営業利益の連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる

食品事業 ニッスイ個別(前年同期比)



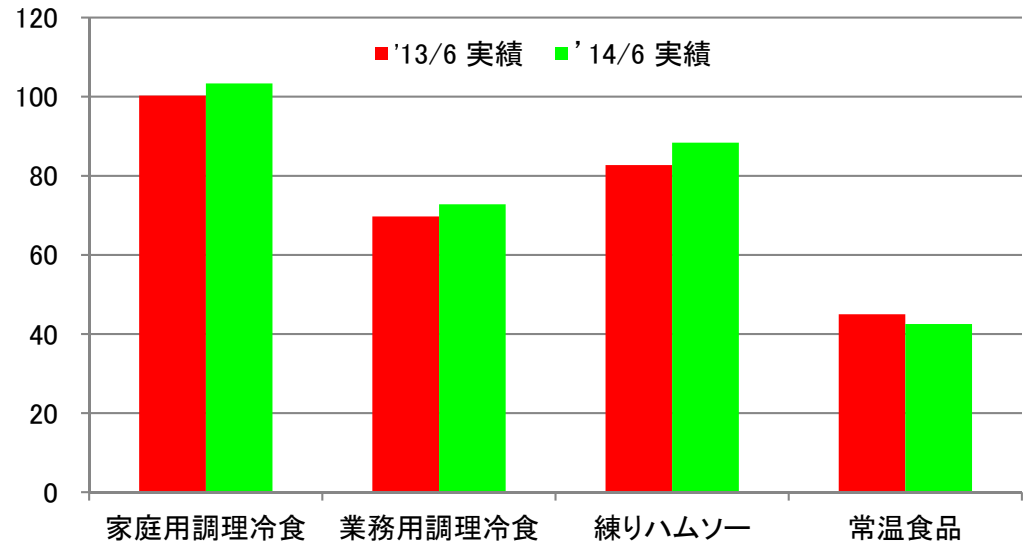
<売上高(月別)>

(単位:億円)



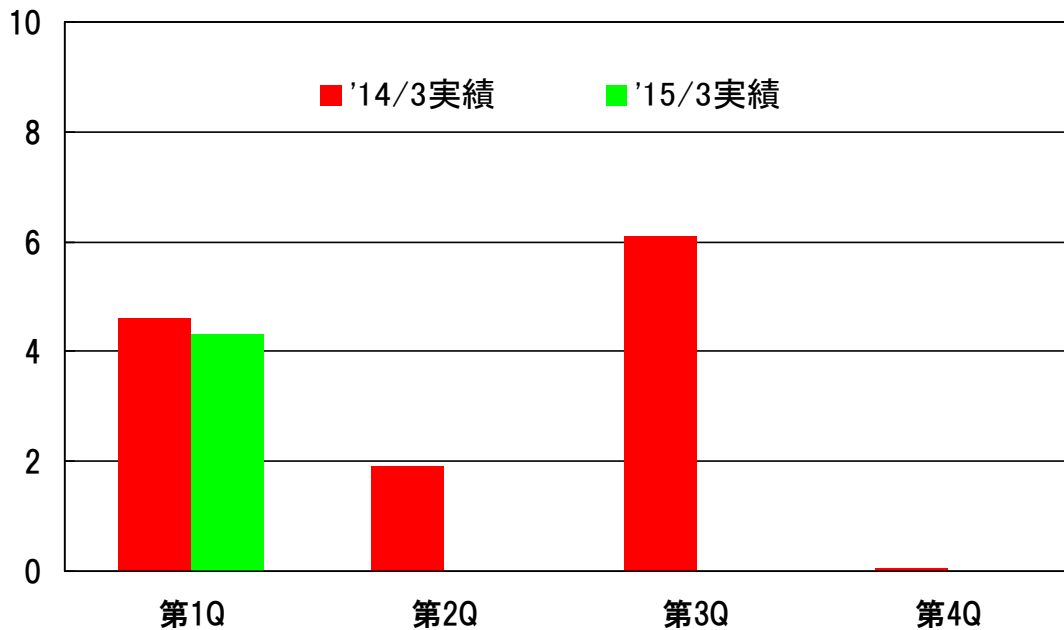
<カテゴリ別 売上高(前年同期比)>

(単位:億円)



<営業利益(四半期別)>

(単位:億円)



<冷凍すりみ輸入価格推移 (財務省貿易統計より算出)>



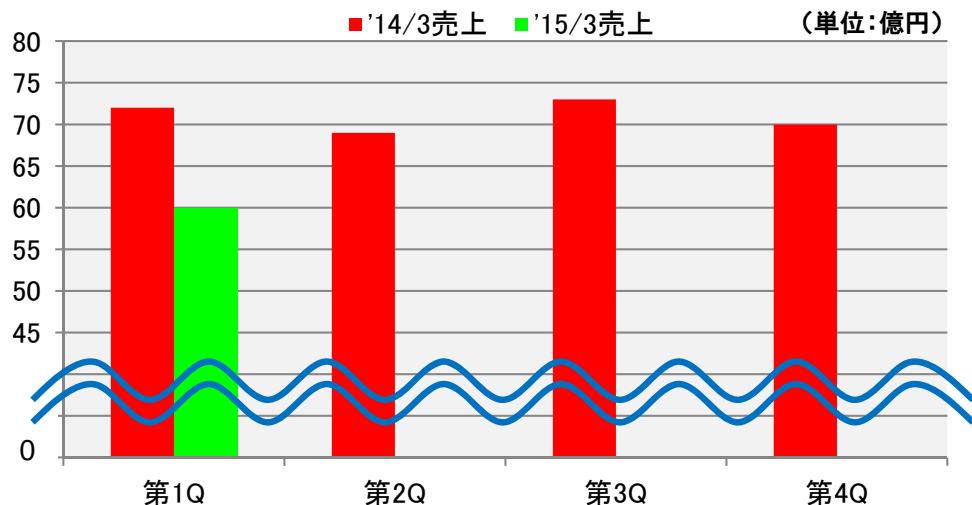
◆2年に1度の薬価改定の影響により、減収・減益

(単位:億円)	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減	2015年3月期 見通し(年間)	2014年3月期 実績(年間)
売上高	60	72	▲ 12	293	285
営業利益	10	19	▲ 8	68	75

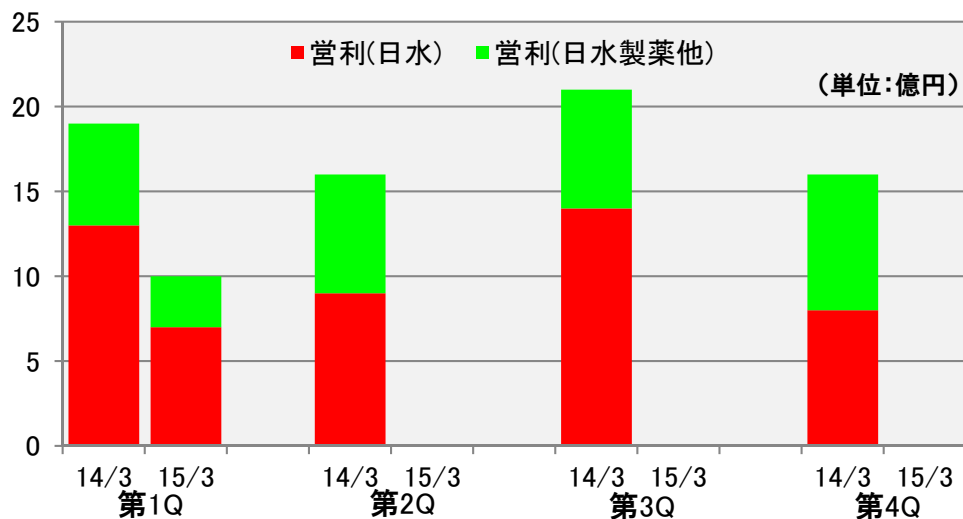
【第1四半期総括】

- ・医薬原料
薬価改定による売上／粗利の減少
- ・機能性食品
通販事業拡大を目指して広告宣伝費を投入
- ・臨床診断薬事業(グループ)などで苦戦

売上高

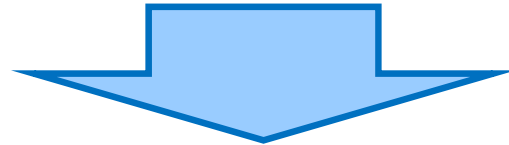


営業利益



<薬価改定>

厚生労働省が実施する薬価調査の結果に基づき、薬価に係る厚生労働大臣告示を全面的に見直すこと



<当社への影響>

2年に1度の薬価改定に伴い、医薬品原料の販売単価を引き下げ

2015年3月期 第1四半期への影響

→前年同期比 売上・粗利減少額 ▲約2億円



その他

- ・機能性食品における通販事業拡大を狙った広告宣伝費の投入
- ・医薬原料の発注ロットの時期ずれの影響

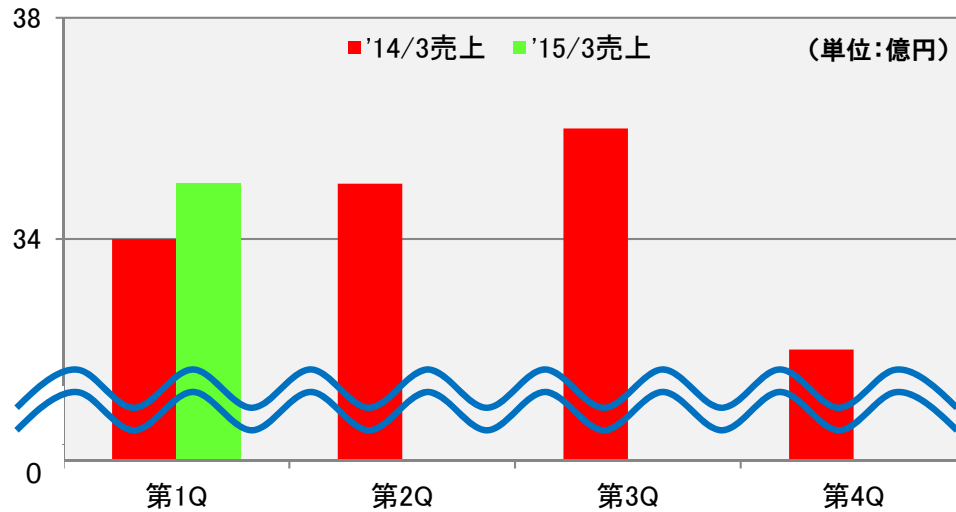
◆前年同期比で増収・増益

(単位:億円)	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減	2015年3月期 見通し(年間)	2014年3月期 実績(年間)
売上高	35	34	1	145	138
営業利益	4	3	0	18	15

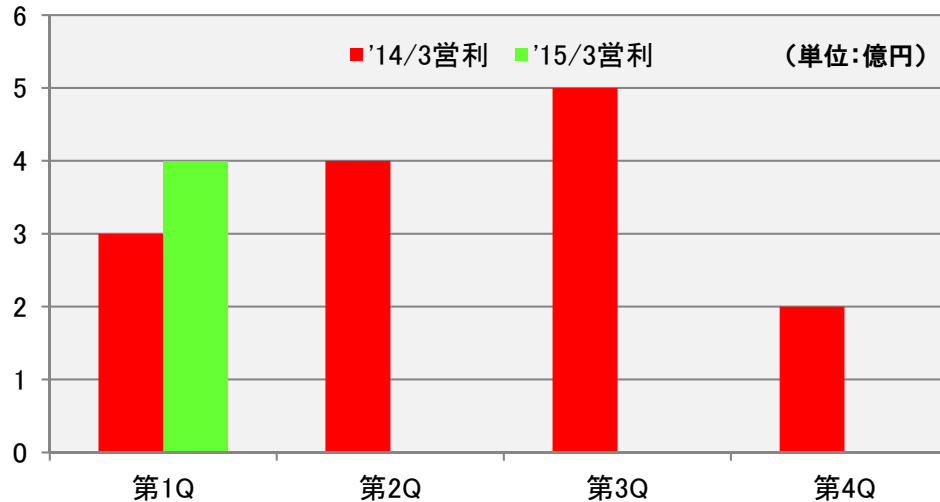
【第1四半期総括】

- ・冷蔵倉庫事業における貨物の取扱量回復傾向

売上高



営業利益



通期の業績予想(連結・個別)

第1四半期決算は概ね順調に推移しましたが、水産物市況の動向が不透明であること、チリの鮭鱒養殖事業における在池魚の時価評価も大きく変動する可能性があること、またファインケミカル事業におけるジェネリックの影響もあるため、見通しについては変更しておりません。

<連結>

(単位:億円)

	2015年3月期 第1四半期実績	売上高比	2015年3月期 年間公表値	売上高比	進捗率	2014年3月期 年間実績
売上高	1,516		6,030		25.2%	6,042
営業利益	50	3.4%	155	2.6%	32.8%	139
経常利益	60	4.0%	160	2.7%	37.8%	123
当期純利益	24	1.7%	73	1.2%	34.2%	39

<個別>

(単位:億円)

	2015年3月期 第1四半期実績	売上高比	2015年3月期 年間公表値	売上高比	進捗率	2014年3月期 年間実績
売上高	830		3,280		25.3%	3,339
営業利益	7	1.0%	34	1.0%	23.5%	27
経常利益	7	0.8%	51	1.6%	13.7%	40
当期純利益	3	0.4%	37	1.1%	9.0%	21

主要在外会社の為替換算レート	2015年3月期第1四半期実績(3月末レート)	2015年3月期計画レート
米ドル	102.92円	108円
ユーロ	141.65円	145円
デンマーククローネ	18.97円	19円

- 水産物市況の弱含みの動きへの対応
→ 在庫コントロールの徹底により、不良在庫発生を防ぎ、利益確保に努める
- すりみ原料価格アップへの対応
→ コストダウン・生産性向上に向けた取組強化や、ねり製品の値上げ
- 薬価改定への対応
→ 歩留り向上によるコストダウン
- 機能性食品の伸長
→ 成長市場創出に向け、広告宣伝費等、中長期をにらんだ戦略投資
- 海外事業
→ 収支改善傾向の見られる北米と、前年に引き続き好調なヨーロッパでの販売強化

連結損益計算書(前年同期比)

(単位:億円)

	2015年3月期 第1四半期実績		2014年3月期 第1四半期実績		増減	増減率
	売上高比		売上高比			
売上高		1,516		1,424	92	6.5%
売上総利益		325	21.5%	301	23	7.9%
販売費・一般管理費		274		275	▲0	
営業利益		50	3.4%	26	24	92.1%
営業外収益		17		19	▲2	
営業外費用		8		9	▲1	
経常利益		60	4.0%	37	23	62.9%
特別利益		0		11	▲11	
特別損失		10		1	9	
税金等調整前四半期純利益		49	3.3%	47	2	5.0%
法人税等		13		12	1	
法人税等調整額		8		6	2	
少数株主損益調整前四半期純利益		27		28	▲1	
少数株主利益		2		1	0	
四半期純利益		24	1.7%	26	▲1	▲7.4%

主な増減要因

【営業外収益・費用】

為替差益	約3億円減少
助成金収入	約3億円減少
有価証券売却益	約4億円増加 等

主な内訳

【特別利益・損失】

2014年3月期

- 固定資産売却益 約6億円
- 減損損失戻入益 約3億円

2015年3月期

- 急激な環境変化によるまぐろの斃死による損失 約8億円

連結貸借対照表(前期末比)



流動資産 2,157 (+60)	流動負債 1,932 (▲30)
	固定負債 1,537 (+31)
固定資産 2,216 (▲32)	純資産 904 (+26)
総資産 4,373 (+27)	うち自己資本 732 (+28) 自己資本比率 16.7%

(単位:億円)

主な増減要因		主な増減要因	
資産	+27	流動資産	+60
			現金及び預金 +22
			受取手形及び売掛金 +25
			商品及び製品 +15
			仕掛品 +8
			原材料及び貯蔵品 ▲9
		固定資産	▲32
			有形固定資産 ▲7
			無形固定資産 ▲8
			投資その他の資産 ▲16
負債	+1	流動負債	▲30
			短期借入金 ▲19
			未払法人税等 ▲18
			未払費用 +19
			賞与引当金 ▲13
		固定負債	+31
			長期借入金 +38
			退職給付に係る負債 ▲3
			その他 ▲2
		純資産	+26
			利益剰余金 +25
			その他有価証券評価差額金 +5
			為替換算調整勘定 ▲4
			退職給付に係る調整累計額 +1

自己資本比率 '14/3 16.2% → '14/6 16.7%

()内の数字は前期末比増減

連結キャッシュ・フロー計算書(前年同期比)



(単位:億円)

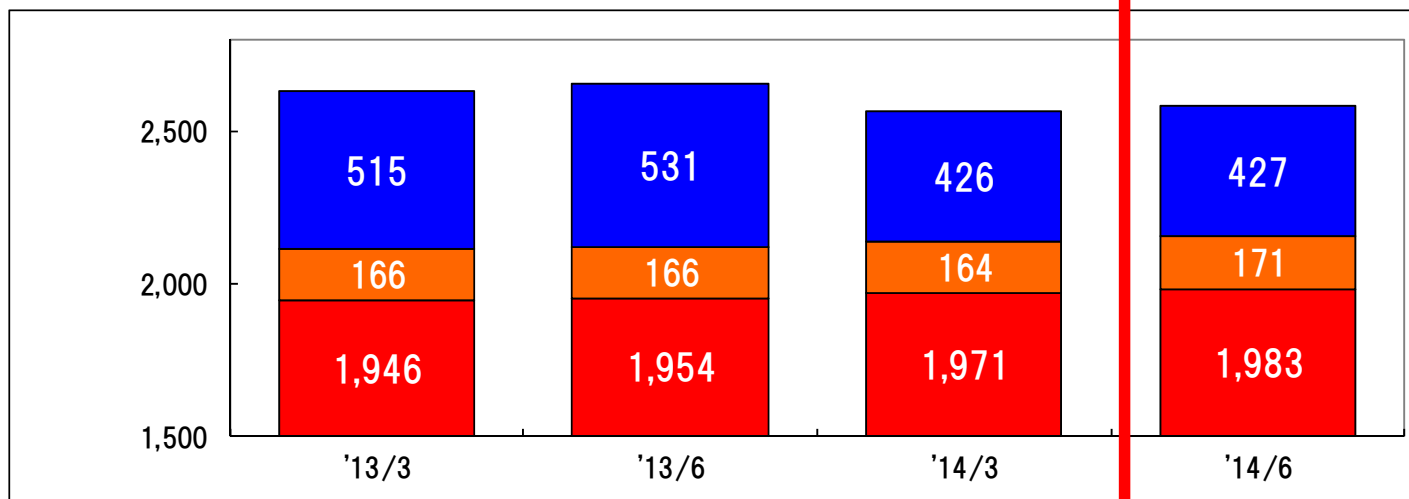
	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減	内訳	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるCF	▲14	▲33	19	税金等調整前四半期純利益	49	47	2
				減価償却費	37	38	▲1
				貸倒引当金の増減額	0	▲11	11
				退職給付引当金の増減額	—	▲4	4
				災害損失	8	—	8
				運転資本の増減額	▲46	▲44	▲1
				利息及び配当金の受取額	5	2	3
				利息の支払額	▲5	▲7	1
				法人税等の支払額	▲29	▲26	▲2
				その他	▲37	▲25	▲12
投資活動によるCF	4	▲6	11	有形固定資産の取得による支出	▲31	▲19	▲11
				有形固定資産の売却による収入	0	7	▲7
				投資有価証券の取得による支出	▲25	▲11	▲13
				投資有価証券の売却による収入	27	12	14
				投資有価証券の償還による収入	30	—	30
				短期貸付金の増減額	4	4	0
財務活動によるCF	28	▲24	52	短期借入金の増減額	18	21	▲2
				長期借入れによる収入	50	11	38
				長期借入金の返済による支出	▲37	▲54	17
現金等の期末残高	155	121	33				

※営業活動によるCFの「その他」には賞与引当金の減少額等が含まれる。

連結借入金・純金利負担

(単位:億円)

- 海外関係会社
- 国内関係会社
- ニッサイ個別



前期末
比増減

+0

+7

+11

借入金合計	2,626	2,650	2,561	2,580	+19
短期借入金	1,307	1,350	1,278	1,259	▲19
長期借入金	1,319	1,300	1,282	1,321	+38
短期借入金平均利率	0.9%	0.9%	0.7%	0.7%	▲0.0%
長期借入金平均利率	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	▲0.0%
純金利負担	18.1	4.8	16.9	4.4	
対営業利益純金利負担率	31%	18%	12%	9%	
支払利息	37.6	8.5	32.7	7.5	
受取利息	9.3	1.4	4.7	0.9	
受取配当金	10.1	2.2	11.0	2.1	
為替レート(US\$1)	@86.58(12月末)	@94.05(3月末)	@105.39(12月末)	@102.92(3月末)	

※為替レート換算による
影響額

前期末比 ▲12億円
前年同期末比 +44億円

セグメントマトリックス 売上高(前年同期比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	仮計	連結調整	連結計
水産事業	479 (29)	105 (9)	57 (18)	45 (20)	123 (35)	811 (113)	▲163 (▲4)	647 (109)
	450	95	38	25	87	697	▲159	537
食品事業	764 (28)	166 (▲1)		12 (▲5)	51 (▲7)	994 (13)	▲256 (▲0)	737 (13)
	735	167		18	59	980	▲256	724
ファイン事業	63 (▲12)			0 (0)		64 (▲12)	▲4 (0)	60 (▲12)
	76			0		77	▲4	72
物流事業	56 (2)					56 (2)	▲20 (▲0)	35 (1)
	54					54	▲20	34
その他事業	49 (▲14)			0 (0)		49 (▲14)	▲14 (▲5)	35 (▲19)
	63			0		64	▲9	55
仮計	1,413 (33)	271 (8)	57 (18)	59 (15)	174 (27)	1,976 (102)		
	1,380	263	38	44	146	1,873		
連結調整	▲344 (▲4)	▲51 (▲2)	▲36 (▲6)	▲26 (1)	▲1 (1)		▲459 (▲10)	
	▲339	▲49	▲29	▲27	▲3		▲449	
連結計	1,069 (28)	219 (6)	21 (11)	32 (16)	172 (29)			1,516 (92)
	1,041	213	9	16	143			1,424

※上段は当四半期累計実績、下段は前年同期実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはグループ間取引による売上高消去が含まれる。

※連結除外会社及び新規連結会社の影響額 ▲21億円

※為替換算による売上高への影響額(試算) 53億円

セグメントマトリックス 営業利益(前年同期比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	全社経費	仮計	連結調整	連結計
水産事業	6 (▲0)	6 (0)	12 (18)	1 (2)	2 (1)		29 (23)	▲7 (▲6)	21 (16)
	6	5	▲6	▲0	1		6	▲1	5
食品事業	10 (2)	5 (5)		▲0 (▲0)	4 (5)		20 (13)	0 (▲0)	20 (12)
	7	0		▲0	▲0		7	0	7
ファイン事業	10 (▲8)			0 (▲0)			10 (▲8)	0 (0)	10 (▲8)
	19			0			19	▲0	19
物流事業	4 (0)						4 (0)	0 (0)	4 (0)
	3						3	0	3
その他事業	1 (▲0)			0 (0)			1 (▲0)	▲0 (▲0)	1 (▲0)
	1			0			1	0	1
全社経費						▲7 (3)	▲7 (3)	0 (▲0)	▲7 (3)
						▲11	▲11	0	▲11
仮計	32 (▲5)	12 (6)	12 (18)	1 (2)	7 (6)	▲7 (3)	57 (31)		
	38	5	▲6	▲0	0	▲11	25		
連結調整	0 (0)	▲2 (▲1)	▲3 (▲4)	▲0 (▲1)	▲1 (▲0)	0 (0)		▲6 (▲7)	
	0	▲0	1	0	▲0	▲0		0	
連結計	33 (▲5)	10 (4)	8 (13)	0 (0)	5 (6)	▲6 (4)			50 (24)
	38	5	▲5	▲0	▲0	▲11			26

※上段は当四半期累計実績、下段は前年同期実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる。

※連結除外会社及び新規連結会社による営業利益への影響額 +4億円

個別損益計算書(前年同期比)



(単位:億円)

	2015年3月期 第1四半期実績	売上高比	2014年3月期 第1四半期実績	売上高比	増減	増減率
売上高	830		802		27	3.5%
売上総利益	165	19.9%	166	20.8%	▲1	▲0.7%
販売費・一般管理費	157		157		0	
営業利益	7	1.0%	9	1.2%	▲1	▲16.1%
営業外収益	5		10		▲4	
営業外費用	6		9		▲2	
経常利益	7	0.8%	10	1.3%	▲3	▲33.1%
特別利益	0		7		▲7	
特別損失	0		1		▲0	
税引前当期純利益	6	0.8%	16	2.1%	▲10	▲62.7%
法人税等	0		1		▲0	
法人税等調整額	2		3		▲0	
当期純利益	3	0.4%	12	1.6%	▲9	▲73.8%

主な増減要因

【営業外収益・費用】
為替差益 約3億円減少 等

主な内訳

【特別利益・損失】
2014年3月期(前期)
- 固定資産売却益 約5億円
- 投資有価証券売却益 約1億円

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものであり、これらの達成を保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により、見通し等とは大きく異なることがあります。その要因としては、市場の経済状況および製品の需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種制度や法律の改定などが含まれます。

従いまして、本資料の利用は、利用者の判断によって行いますようお願い致します。本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識頂きますようお願い申し上げます。

日本水産株式会社

2014年8月5日発表

証券コード：1332

お問合せ先：経営企画IR室広報IR課

03-3244-4371

<http://www.nissui.co.jp/ir/index.html>



【訂正前】



2015年3月期 第1四半期決算 決算短信補足資料

2014年8月5日
日本水産株式会社

◆前年同期比で増収・増益

【水産事業】 増収・増益

国内：販売価格は高止まりするも、仕入れ価格も上昇しており、粗利が取りづらくなっている。一部の魚種で魚価落ち込みの兆候。

海外：北米の助子生産増と、南米の鮭鱒養殖事業で販売価格上昇や在池魚の評価益による収支改善。

【食品事業】 増収・増益

国内：原料すりみの価格上昇の影響が出始めた。

販売競争激化による販促費の増加。

海外：不採算事業縮小による赤字削減効果や、北米事業の収支改善。

【ファイン事業】 減収・減益

薬価改定による売上/粗利の減少。

機能性食品拡大を目指した広告宣伝費の投入。

グループ会社が好調である一方、ニッスイ個別は減益。

◆水産、食品、物流事業は増収・増益。ファイン事業が減収・減益。

(単位:億円)

	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減	2015年3月期 見通し(年間)	2014年3月期 実績(年間)
売上高	1,516	1,424	92	6,030	6,042
水産事業	647	537	109	2,551	2,538
食品事業	737	724	13	2,843	2,826
ファイン事業	60	72	▲ 12	293	285
物流事業	35	34	1	145	138
その他	35	55	▲ 19	198	252
営業利益	50	26	24	155	139
水産事業	21	5	16	36	50
食品事業	20	7	12	59	27
ファイン事業	10	19	▲ 8	68	75
物流事業	4	3	0	18	15
その他	1	1	▲ 0	6	12
全社経費	▲ 7	▲ 11	3	▲ 32	▲ 41
経常利益	60	37	23	160	123
四半期純利益	24	26	▲ 1	73	37

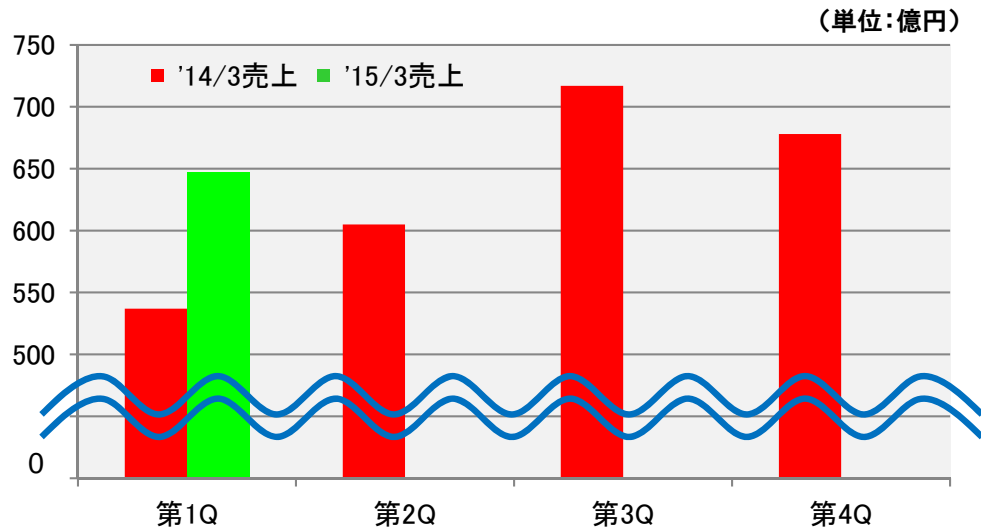
◆南米の鮭鱒養殖事業における販売価格の上昇や在池魚評価益もあり、増収・増益

(単位:億円)	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減	2015年3月期 見通し(年間)	2014年3月期 実績(年間)
売上高	647	537	109	2,551	2,538
営業利益	21	5	16	36	50

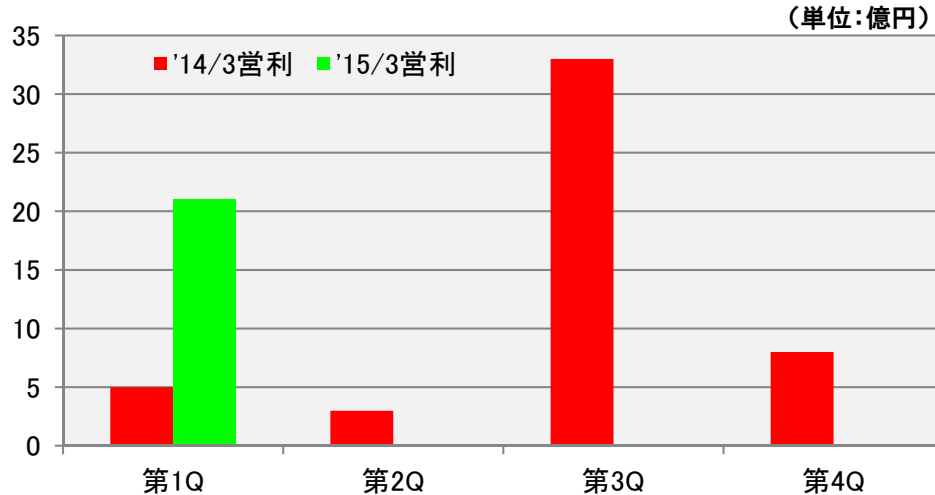
【第1四半期総括】

- ・水産物市況は高値で推移したものの、一部の魚種で弱含みの傾向が出始めた
- ・北米、ヨーロッパが堅調に推移
- ・在庫回転のアップによる不良在庫リスクの低減

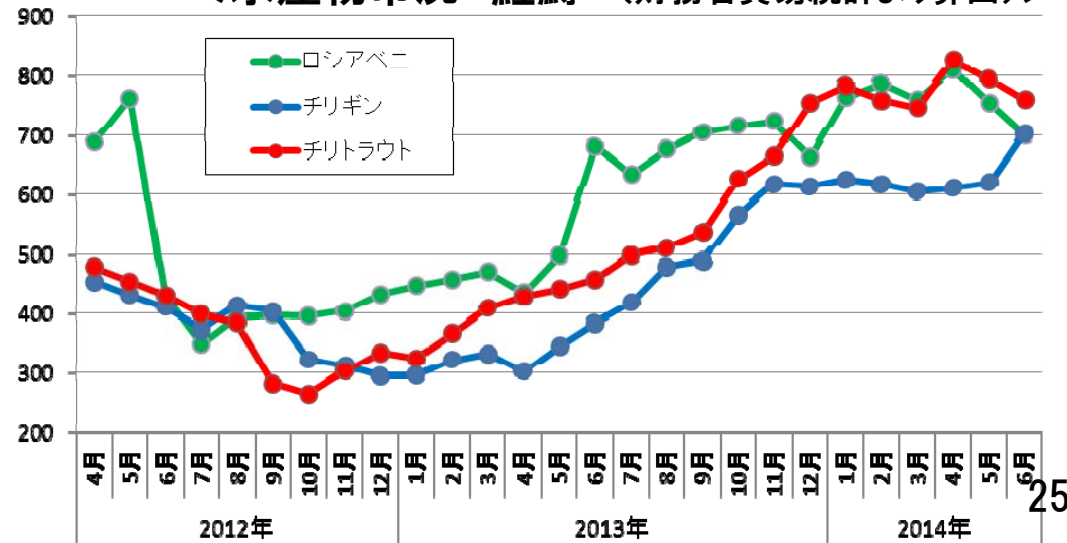
売上高



営業利益



＜水産物市況 鮭鱒 (財務省貿易統計より算出)＞



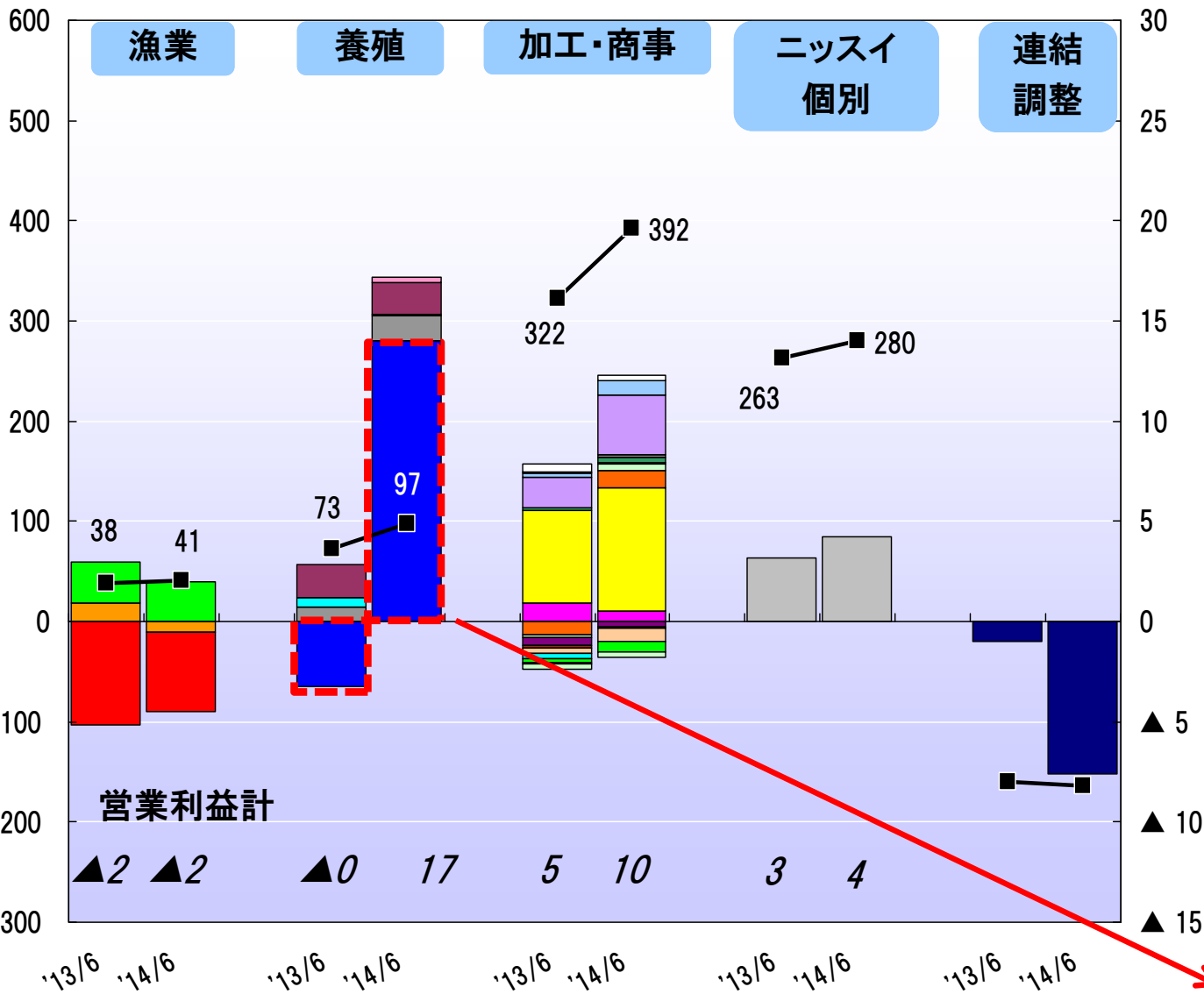
水産事業 売上高・営業利益(前年同期比)



売上高(折れ線グラフ)

(単位:億円)

営業利益(棒グラフ)



主な増減要因

【漁業】

- 国内の漁撈事業
ぶりなどの漁獲好調、燃料費・ドック経費の増加

【養殖】

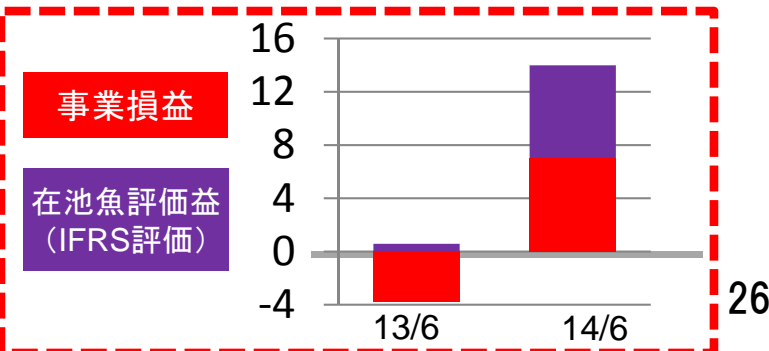
- 国内養殖事業
ぶり: 販売価格上昇
まぐろ: 販売価格低迷
- チリの鮭鱒養殖事業
販売価格の上昇、在池魚評価益の影響

【加工・商事】

- アメリカのすけそうだら事業
すりみ: 販売価格上昇、助子: 生産量増加
- ヨーロッパ
えび・白身魚など主要魚種が高値で推移

【ニッスイ個別】

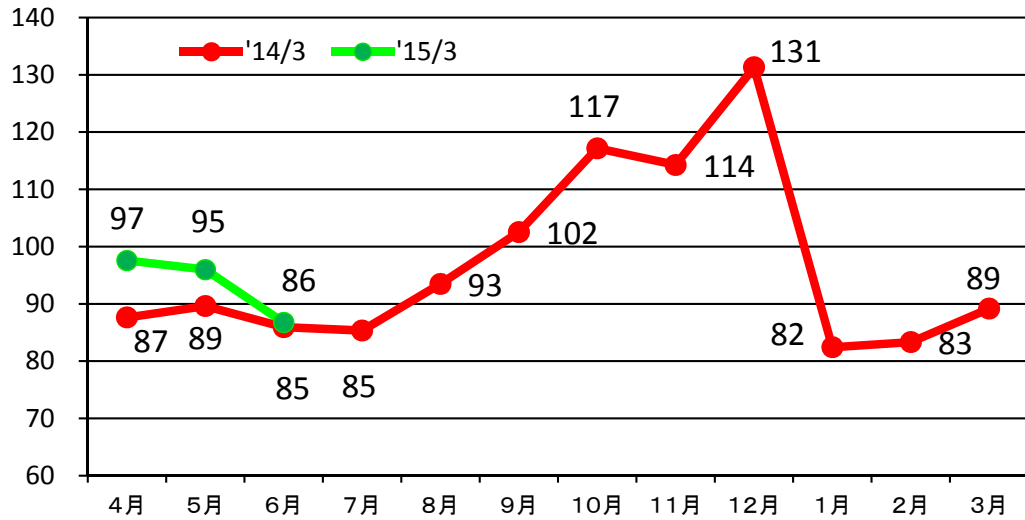
- 計画に沿った在庫コントロール
- 水産物市況は一部弱含みの傾向あり



※漁業、養殖、加工・商事のグラフは連結子会社の合計を記載
 ※グラフ下部の斜体数値は機能別営業利益合計数値
 ※営業利益の連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる

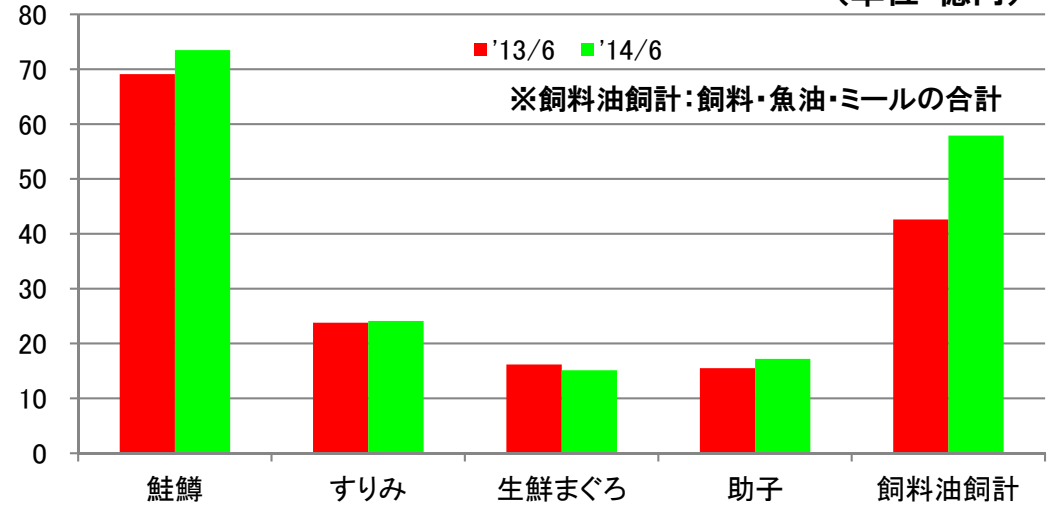
<売上高(月別)>

(単位:億円)



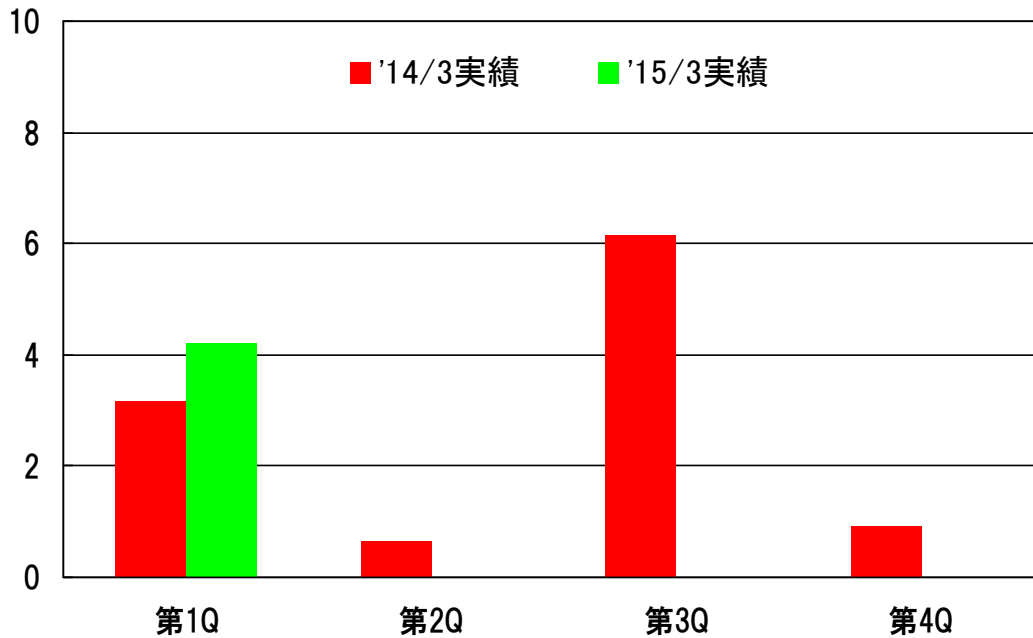
<主要魚種別 売上高(前年同期比)>

(単位:億円)

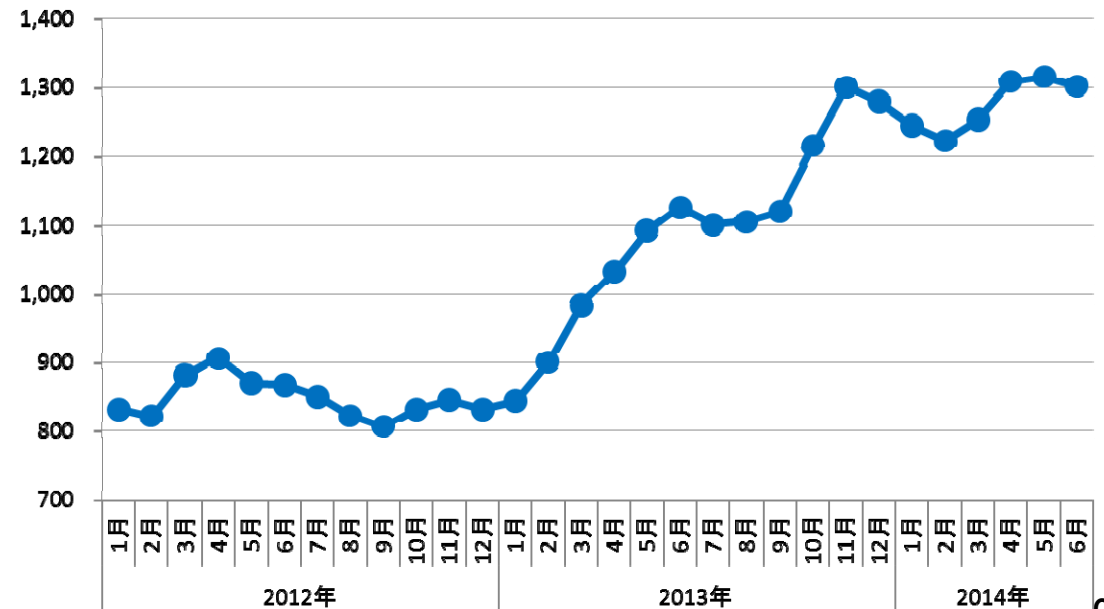


<営業利益(四半期別)>

(単位:億円)



<水産物市況 冷凍えび (財務省貿易統計より算出)>



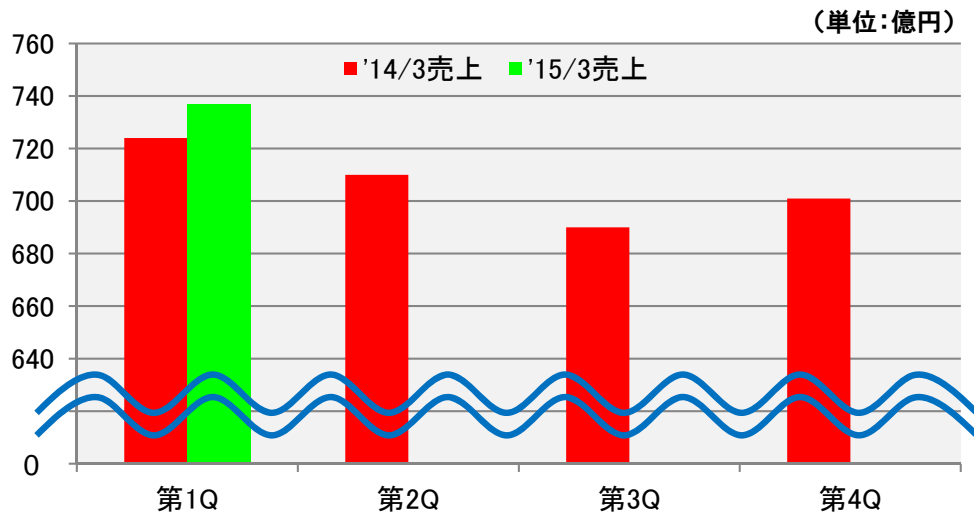
◆北米の収支改善やヨーロッパの販売伸長により、増収・増益

(単位:億円)	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減	2015年3月期 見通し(年間)	2014年3月期 実績(年間)
売上高	737	724	13	2,843	2,826
営業利益	20	7	12	59	27

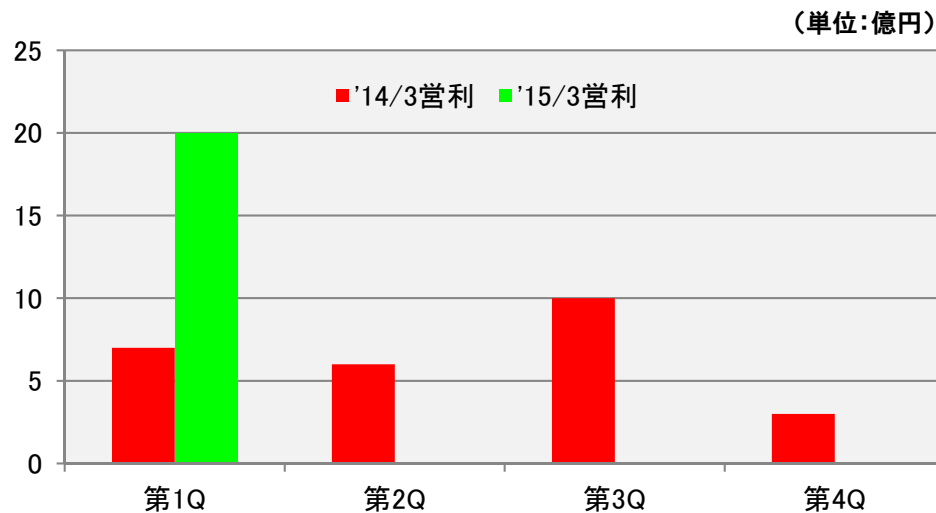
【第1四半期総括】

- ・北米で不採算アイテムの見直しによる収支改善効果
- ・ヨーロッパで販売拡大と生産効率の向上
- ・チルド事業における販売伸長と生産性の改善効果
- ・すりみなど原材料コストアップ
- ・販促費のアップ

売上高



営業利益

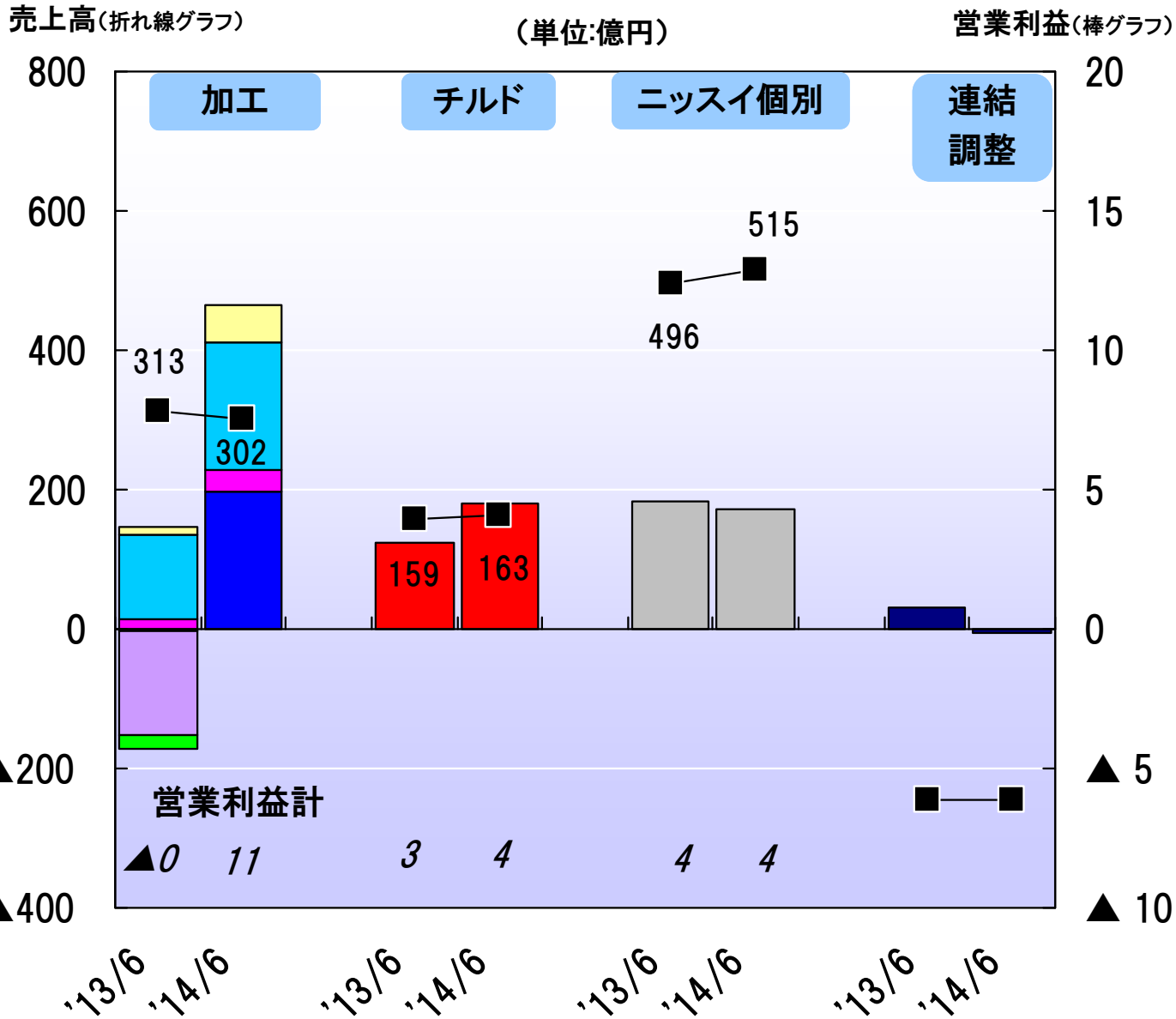


シテマリン社



K&P社

食品事業 売上高・営業利益(前年同期比)



主な増減要因

【加工】

- ・ドイツ、中国の不採算事業の縮小・撤退効果
- ・北米
不採算アイテムの見直し
大手レストランチェーン向け販売の伸長
- ・ヨーロッパ
新商品投入による販売拡大、生産効率の向上

【チルド】

- ・チルド弁当、サラダ等の販売伸長
- ・生産工程の見直しによる生産性の改善

【ニッスイ個別】

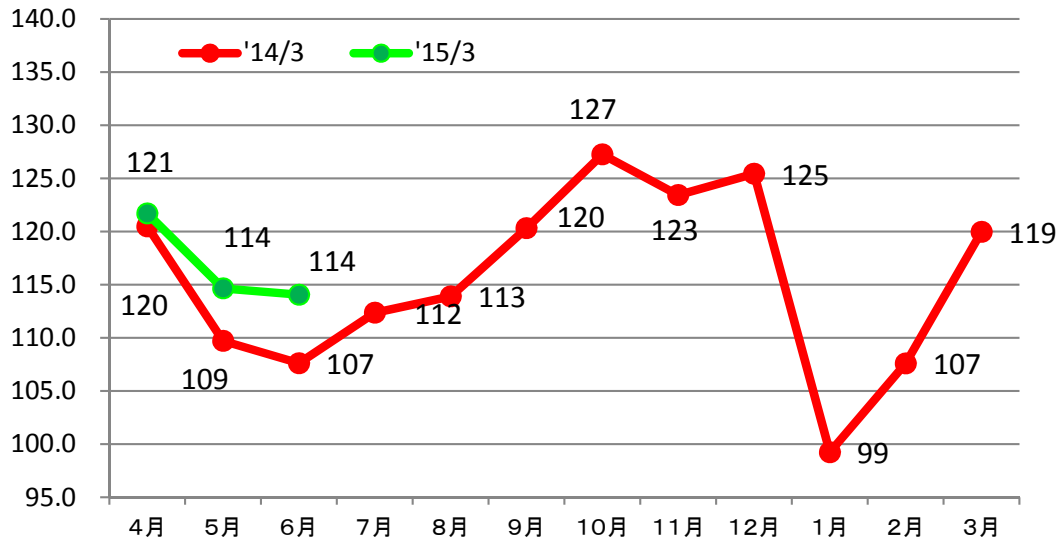
- ・すりみコストアップの影響への対応
- ・販売競争激化による経費の増加

※加工、チルドのグラフは連結子会社の合計を記載
 ※グラフ下部の斜体数値は機能別営業利益合計数値
 ※営業利益の連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる



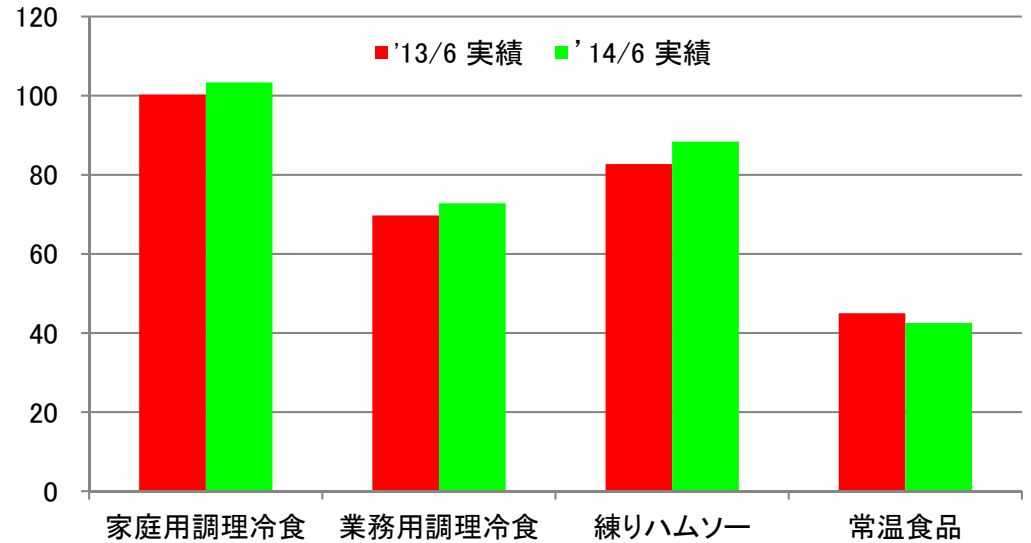
<売上高(月別)>

(単位:億円)



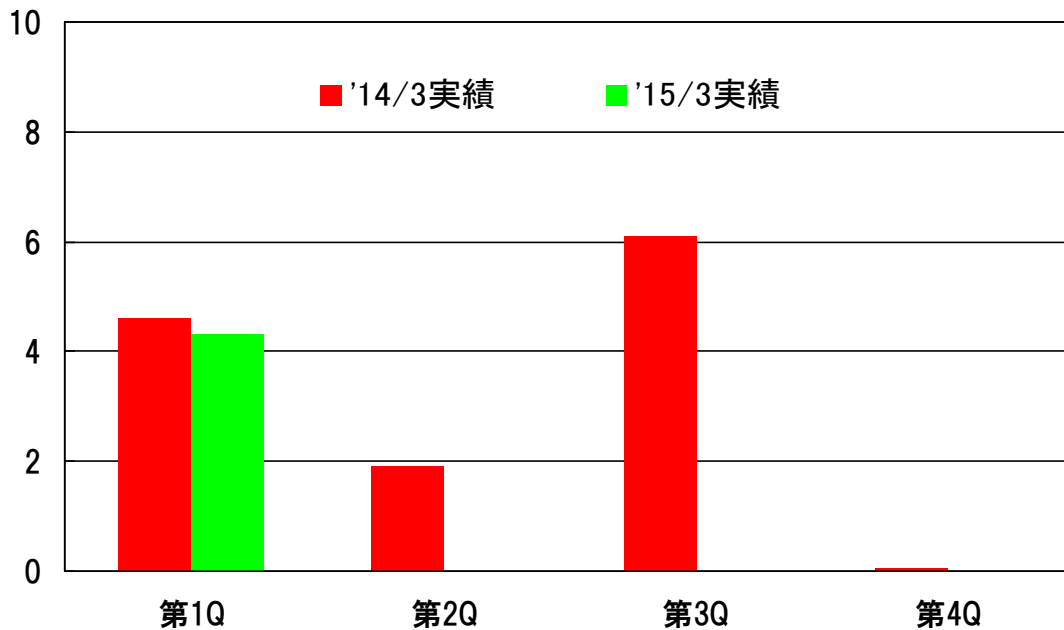
<カテゴリ別 売上高(前年同期比)>

(単位:億円)



<営業利益(四半期別)>

(単位:億円)



<冷凍すりみ輸入価格推移 (財務省貿易統計より算出)>



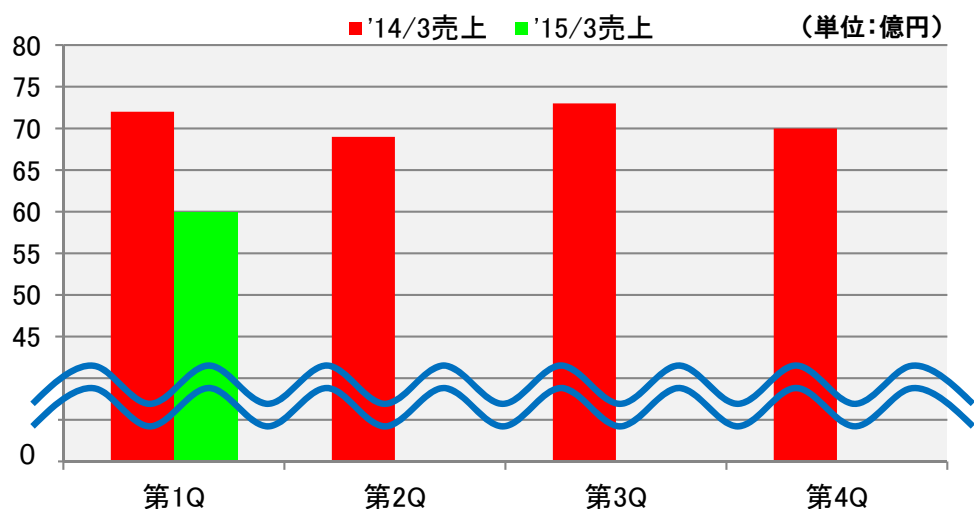
◆2年に1度の薬価改定の影響により、減収・減益

(単位:億円)	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減	2015年3月期 見通し(年間)	2014年3月期 実績(年間)
売上高	60	72	▲ 12	293	285
営業利益	10	19	▲ 8	68	75

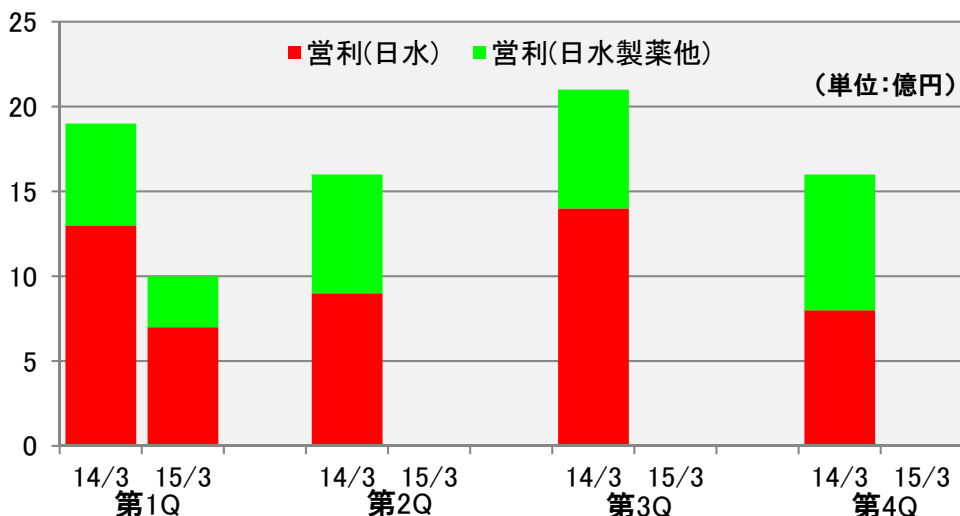
【第1四半期総括】

- ・医薬原料
薬価改定による売上／粗利の減少
- ・機能性食品
通販事業拡大を目指して広告宣伝費を投入
- ・臨床診断薬事業(グループ)などで苦戦

売上高

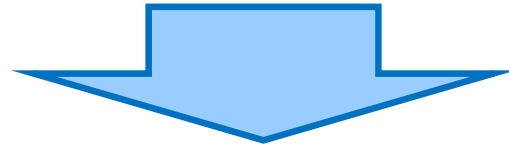


営業利益



<薬価改定>

厚生労働省が実施する薬価調査の結果に基づき、薬価に係る厚生労働大臣告示を全面的に見直すこと



<当社への影響>

2年に1度の薬価改定に伴い、医薬品原料の販売単価を引き下げ

2015年3月期 第1四半期への影響

→前年同期比 売上・粗利減少額 ▲約2億円



その他

- ・機能性食品における通販事業拡大を狙った広告宣伝費の投入
- ・医薬原料の発注ロットの時期ずれの影響

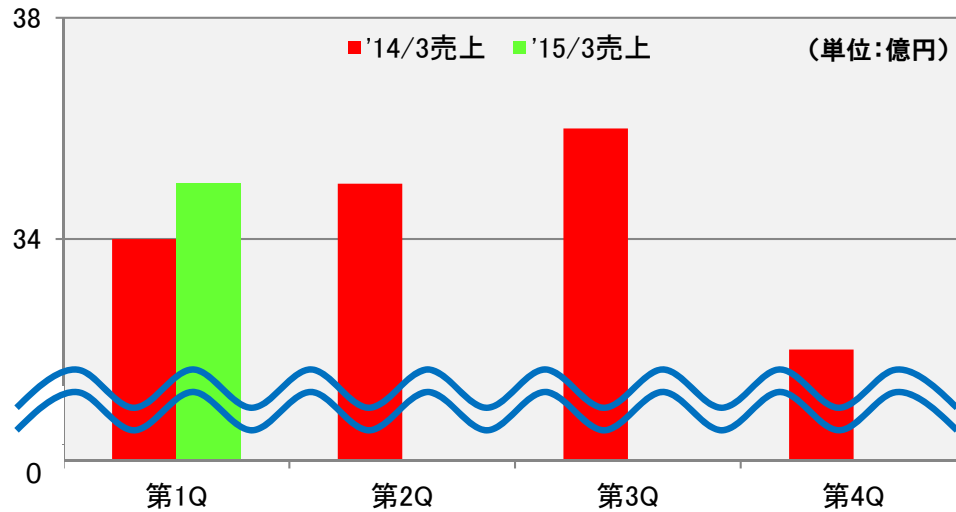
◆前年同期比で増収・増益

(単位:億円)	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減	2015年3月期 見通し(年間)	2014年3月期 実績(年間)
売上高	35	34	1	145	138
営業利益	4	3	0	18	15

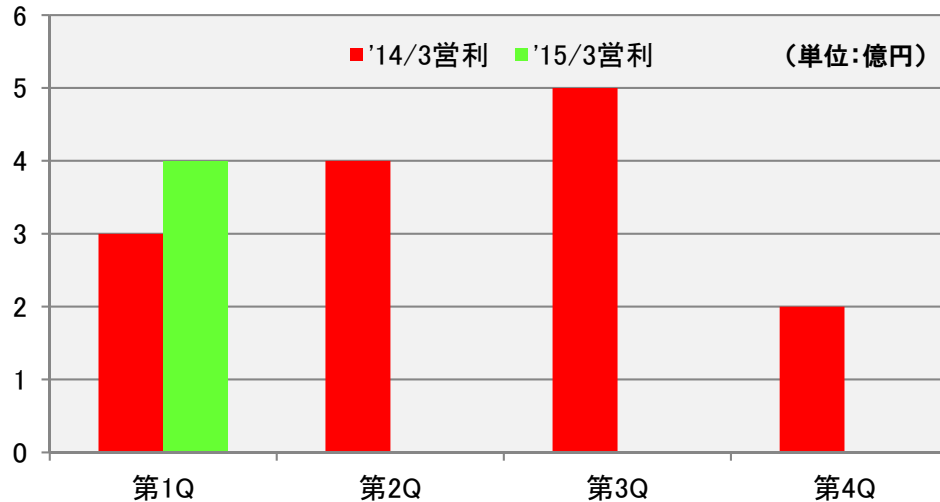
【第1四半期総括】

- ・冷蔵倉庫事業における貨物の取扱量回復傾向

売上高



営業利益



通期の業績予想(連結・個別)

第1四半期決算は概ね順調に推移しましたが、水産物市況の動向が不透明であること、チリの鮭鱒養殖事業における在池魚の時価評価も大きく変動する可能性があること、またファインケミカル事業におけるジェネリックの影響もあるため、見通しについては変更しておりません。

<連結>

(単位:億円)

	2015年3月期 第1四半期実績	売上高比	2015年3月期 年間公表値	売上高比	進捗率	2014年3月期 年間実績
売上高	1,516		6,030		25.2%	6,042
営業利益	50	3.4%	155	2.6%	32.8%	139
経常利益	60	4.0%	160	2.7%	37.8%	123
当期純利益	24	1.7%	73	1.2%	34.2%	37

<個別>

(単位:億円)

	2015年3月期 第1四半期実績	売上高比	2015年3月期 年間公表値	売上高比	進捗率	2014年3月期 年間実績
売上高	830		3,280		25.3%	3,339
営業利益	7	1.0%	34	1.0%	23.5%	27
経常利益	7	0.8%	51	1.6%	13.7%	40
当期純利益	3	0.4%	37	1.1%	9.0%	21

主要在外会社の為替換算レート	2015年3月期第1四半期実績(3月末レート)	2015年3月期計画レート
米ドル	102.92円	108円
ユーロ	141.65円	145円
デンマーククローネ	18.97円	19円

- ・水産物市況の弱含みの動きへの対応
→在庫コントロールの徹底により、不良在庫発生を防ぎ、利益確保に努める
- ・すりみ原料価格アップへの対応
→コストダウン・生産性向上に向けた取組強化や、ねり製品の値上げ
- ・薬価改定への対応
→歩留り向上によるコストダウン
- ・機能性食品の伸長
→成長市場創出に向け、広告宣伝費等、中長期をにらんだ戦略投資
- ・海外事業
→収支改善傾向の見られる北米と、前年に引き続き好調なヨーロッパでの販売強化

連結損益計算書(前年同期比)

(単位:億円)

	2015年3月期 第1四半期実績	売上高比	2014年3月期 第1四半期実績	売上高比	増減	増減率
売上高	1,516		1,424		92	6.5%
売上総利益	325	21.5%	301	21.2%	23	7.9%
販売費・一般管理費	274		275		▲0	
営業利益	50	3.4%	26	1.9%	24	92.1%
営業外収益	17		19		▲2	
営業外費用	8		9		▲1	
経常利益	60	4.0%	37	2.6%	23	62.9%
特別利益	0		11		▲11	
特別損失	10		1		9	
税金等調整前四半期純利益	49	3.3%	47	3.3%	2	5.0%
法人税等	13		12		1	
法人税等調整額	8		6		2	
少数株主損益調整前四半期純利益	27		28		▲1	
少数株主利益	2		1		0	
四半期純利益	24	1.7%	26	1.9%	▲1	▲7.4%

主な増減要因

【営業外収益・費用】

為替差益	約3億円減少
助成金収入	約3億円減少
有価証券売却益	約4億円増加 等

主な内訳

【特別利益・損失】

2014年3月期

- 固定資産売却益 約6億円
- 減損損失戻入益 約3億円

2015年3月期

- 急激な環境変化によるまぐろの斃死による損失 約8億円

連結貸借対照表(前期末比)



流動資産 2,157 (+60)	流動負債 1,932 (▲30)
	固定負債 1,548 (+31)
固定資産 2,188 (▲31)	純資産 864 (+27)
総資産 4,345 (+29)	うち自己資本 692 (+29) <i>自己資本比率 15.9%</i>

(単位:億円)

主な増減要因		主な増減要因			
資産	+29	流動資産	+60	現金及び預金	+22
				受取手形及び売掛金	+25
				商品及び製品	+15
				仕掛品	+8
		原材料及び貯蔵品	▲9		
負債	+1	固定資産	▲31	有形固定資産	▲7
				無形固定資産	▲8
				投資その他の資産	▲14
				流動負債	▲30
		流動負債	▲30	短期借入金	▲19
				未払法人税等	▲18
				未払費用	+19
				賞与引当金	▲13
		固定負債	+31	長期借入金	+38
				退職給付に係る負債	▲3
				その他	▲2
		純資産	+27	利益剰余金	+25
				その他有価証券評価差額金	+5
				為替換算調整勘定	▲3
				退職給付に係る調整累計額	+1

自己資本比率 '14/3 15.4% → '14/6 15.9%

()内の数字は前期末比増減

連結キャッシュ・フロー計算書(前年同期比)



(単位:億円)

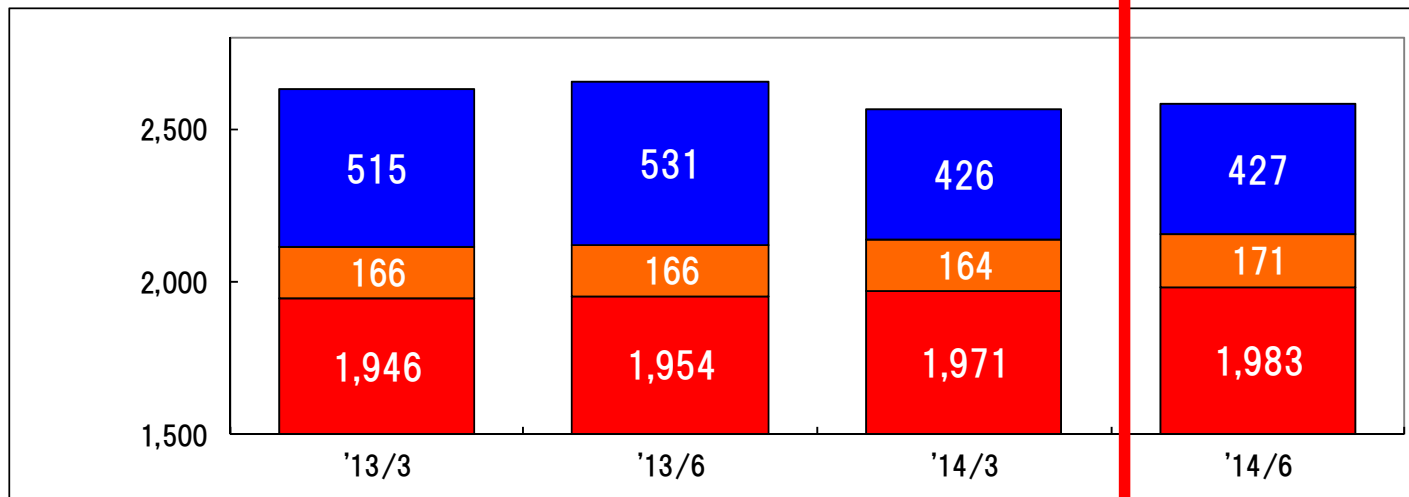
	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減	内訳	2015年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるCF	▲14	▲33	19	税金等調整前四半期純利益	49	47	2
				減価償却費	37	38	▲1
				貸倒引当金の増減額	0	▲11	11
				退職給付引当金の増減額	—	▲4	4
				災害損失	8	—	8
				運転資本の増減額	▲46	▲44	▲1
				利息及び配当金の受取額	5	2	3
				利息の支払額	▲5	▲7	1
				法人税等の支払額	▲29	▲26	▲2
				その他	▲37	▲25	▲12
投資活動によるCF	4	▲6	11	有形固定資産の取得による支出	▲31	▲19	▲11
				有形固定資産の売却による収入	0	7	▲7
				投資有価証券の取得による支出	▲25	▲11	▲13
				投資有価証券の売却による収入	27	12	14
				投資有価証券の償還による収入	30	—	30
				短期貸付金の増減額	4	4	0
財務活動によるCF	28	▲24	52	短期借入金の増減額	18	21	▲2
				長期借入れによる収入	50	11	38
				長期借入金の返済による支出	▲37	▲54	17
現金等の期末残高	155	121	33				

※営業活動によるCFの「その他」には賞与引当金の減少額等が含まれる。

連結借入金・純金利負担

(単位:億円)

- 海外関係会社
- 国内関係会社
- ニッスイ個別



前期末
比増減

+0

+7

+11

借入金合計	2,626	2,650	2,561	2,580	+19
短期借入金	1,307	1,350	1,278	1,259	▲19
長期借入金	1,319	1,300	1,282	1,321	+38
短期借入金平均利率	0.9%	0.9%	0.7%	0.7%	▲0.0%
長期借入金平均利率	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	▲0.0%
純金利負担	18.1	4.8	16.9	4.4	
対営業利益純金利負担率	31%	18%	12%	9%	
支払利息	37.6	8.5	32.7	7.5	
受取利息	9.3	1.4	4.7	0.9	
受取配当金	10.1	2.2	11.0	2.1	
為替レート(US\$1)	@86.58(12月末)	@94.05(3月末)	@105.39(12月末)	@102.92(3月末)	

※為替レート換算による
影響額

前期末比 ▲12億円
前年同期末比 +44億円

セグメントマトリックス 売上高(前年同期比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	仮計	連結調整	連結計
水産事業	479 (29)	105 (9)	57 (18)	45 (20)	123 (35)	811 (113)	▲163 (▲4)	647 (109)
	450	95	38	25	87	697	▲159	537
食品事業	764 (28)	166 (▲1)		12 (▲5)	51 (▲7)	994 (13)	▲256 (▲0)	737 (13)
	735	167		18	59	980	▲256	724
ファイン事業	63 (▲12)			0 (0)		64 (▲12)	▲4 (0)	60 (▲12)
	76			0		77	▲4	72
物流事業	56 (2)					56 (2)	▲20 (▲0)	35 (1)
	54					54	▲20	34
その他事業	49 (▲14)			0 (0)		49 (▲14)	▲14 (▲5)	35 (▲19)
	63			0		64	▲9	55
仮計	1,413 (33)	271 (8)	57 (18)	59 (15)	174 (27)	1,976 (102)		
	1,380	263	38	44	146	1,873		
連結調整	▲344 (▲4)	▲51 (▲2)	▲36 (▲6)	▲26 (1)	▲1 (1)		▲459 (▲10)	
	▲339	▲49	▲29	▲27	▲3		▲449	
連結計	1,069 (28)	219 (6)	21 (11)	32 (16)	172 (29)			1,516 (92)
	1,041	213	9	16	143			1,424

※上段は当四半期累計実績、下段は前年同期実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはグループ間取引による売上高消去が含まれる。

※連結除外会社及び新規連結会社の影響額 ▲21億円

※為替換算による売上高への影響額(試算) 53億円

セグメントマトリックス 営業利益(前年同期比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	全社経費	仮計	連結調整	連結計
水産事業	6 (▲0)	6 (0)	12 (18)	1 (2)	2 (1)		29 (23)	▲7 (▲6)	21 (16)
	6	5	▲6	▲0	1		6	▲1	5
食品事業	10 (2)	5 (5)		▲0 (▲0)	4 (5)		20 (13)	0 (▲0)	20 (12)
	7	0		▲0	▲0		7	0	7
ファイン事業	10 (▲8)			0 (▲0)			10 (▲8)	0 (0)	10 (▲8)
	19			0			19	▲0	19
物流事業	4 (0)						4 (0)	0 (0)	4 (0)
	3						3	0	3
その他事業	1 (▲0)			0 (0)			1 (▲0)	▲0 (▲0)	1 (▲0)
	1			0			1	0	1
全社経費						▲7 (3)	▲7 (3)	0 (▲0)	▲7 (3)
						▲11	▲11	0	▲11
仮計	32 (▲5)	12 (6)	12 (18)	1 (2)	7 (6)	▲7 (3)	57 (31)		
	38	5	▲6	▲0	0	▲11	25		
連結調整	0 (0)	▲2 (▲1)	▲3 (▲4)	▲0 (▲1)	▲1 (▲0)	0 (0)		▲6 (▲7)	
	0	▲0	1	0	▲0	▲0		0	
連結計	33 (▲5)	10 (4)	8 (13)	0 (0)	5 (6)	▲6 (4)			50 (24)
	38	5	▲5	▲0	▲0	▲11			26

※上段は当四半期累計実績、下段は前年同期実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる。

※連結除外会社及び新規連結会社による営業利益への影響額 +4億円

個別損益計算書(前年同期比)



(単位:億円)

	2015年3月期 第1四半期実績	売上高比	2014年3月期 第1四半期実績	売上高比	増減	増減率
売上高	830		802		27	3.5%
売上総利益	165	19.9%	166	20.8%	▲1	▲0.7%
販売費・一般管理費	157		157		0	
営業利益	7	1.0%	9	1.2%	▲1	▲16.1%
営業外収益	5		10		▲4	
営業外費用	6		9		▲2	
経常利益	7	0.8%	10	1.3%	▲3	▲33.1%
特別利益	0		7		▲7	
特別損失	0		1		▲0	
税引前当期純利益	6	0.8%	16	2.1%	▲10	▲62.7%
法人税等	0		1		▲0	
法人税等調整額	2		3		▲0	
当期純利益	3	0.4%	12	1.6%	▲9	▲73.8%

主な増減要因

【営業外収益・費用】
為替差益 約3億円減少 等

主な内訳

【特別利益・損失】
2014年3月期(前期)
- 固定資産売却益 約5億円
- 投資有価証券売却益 約1億円

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものであり、これらの達成を保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により、見通し等とは大きく異なることがあります。その要因としては、市場の経済状況および製品の需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種制度や法律の改定などが含まれます。

従いまして、本資料の利用は、利用者の判断によって行いますようお願い致します。本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識頂きますようお願い申し上げます。

日本水産株式会社

2014年8月5日発表

証券コード：1332

お問合せ先：経営企画IR室広報IR課

03-3244-4371

<http://www.nissui.co.jp/ir/index.html>

